

2020年度

講義要項

緑地環境学科

西日本短期大学

緑地環境学科

<学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）>

DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。

DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。

DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。

DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。

<ナンバリングについて>

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 ビジネス法学科 | 4 保育学科 |
| 2 緑地環境学科 | 5 健康スポーツコミュニケーション学科 |
| 3 社会福祉学科 | 6 メディア・プロモーション学科 |

■科目区分

- | | |
|--------|--------|
| B 基礎科目 | S 専門科目 |
| P 実務科目 | Q 資格科目 |

■開講期

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 一年次科目 | 2 二年次科目 | |
| S 前期科目 | F 後期科目 | Y 通年科目 |

■必修・選択の区分

- | | |
|------|------|
| R 必修 | E 選択 |
|------|------|

■科目ナンバー

二桁の数字

(例)「英語Ⅰ」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
2	B	1 S	E	01

<緑地環境学科 1年次開講科目>

区分	授業科目	ナンバリング	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				ページ
			DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	
基礎	英語 I	2-B1SE01	○				1
	英語 II	2-B1FE02	○				2
	スポーツ理論と実践	2-B1SE03	○				3
	生物学	2-B1SE04	○		△		4
	茶道文化 I	2-B1SE05	○				5
	茶道文化 II	2-B1FE06	○				6
	キャリアデザイン	2-B1SR07	○				7
	ポートフォリオデザイン	2-B1FR08	○				8
専門	総合実習	2-S1YR01			△	○	9～12
	ランドスケープデザイン論	2-S1FR02			○		13
	造園史	2-S1SR03	○		△		14
	庭園設計論	2-S1FE04			○		15
	造園樹木学	2-S1SR05	○			△	16
	樹木学実習	2-S1FR06	○			△	17
	環境設計演習 I	2-S1YR07			○		18, 19
	製図演習	2-S1SR08			○	△	20
	コンピュータ実習 I	2-S1YR09	△		○		21, 22
	測量学	2-S1YE10			○		23, 24
	測量実習 I	2-S1YE11				○	25, 26
	緑地計画学	2-S1SE12			○		27
	エコロジー概論	2-S1SE13	○		△		28
	植物病理学	2-S1FE14	○		△		29
	土壌肥料学	2-S1FE15	○		△		30
	造園土木材料論	2-S1FE16	○				31
	草花と園芸	2-S1FE17	○				32
	緑地管理実習 I	2-S1SE18			△	○	33
	緑地管理実習 II	2-S1FE19			△	○	34
	フラワーデザイン基礎	2-S1SE20	○				35
学外研修	2-S1SE21	○				36	
企業実習	2-S1FE22	○				37	
環境ボランティア演習	2-S1YE23	△		○		38, 39	
資格	ビオトープ演習	2-Q1SE01	○		△		40

○：関連するディプロマ・ポリシー △：次に関連するディプロマ・ポリシー

<緑地環境学科 2年次開講科目>

区分	授業科目	ナンバリング	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				ページ
			DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	
専門	ゼミナール	2-S2YR01		○			41~50
	ガーデニング実習	2-S2YR02		○			51, 52
	植物育成管理学	2-S2FR03		○	△		53
	環境設計演習Ⅱ	2-S2SR04			○		54
	環境設計演習Ⅲ	2-S2FE05			○		55
	コンピュータ実習Ⅱ	2-S2SE06	△		○		56
	測量実習Ⅱ	2-S2YE07				○	57, 58
	造園施工管理論	2-S2SE08		○			59
	都市計画	2-S2FE09			○		60
	住環境論	2-S2FE10			○		61
	環境保全論	2-S2FE11		△	○		62
	景観論	2-S2FE12			○		63
	植物病理学	2-S2SE13	○		△		64
	造園昆虫・動物学演習	2-S2SE14		○		△	65
	農業・肥料学	2-S2FE15		○			66
	造園関係法規	2-S2FE16		○			67
	緑地管理演習	2-S2SE17			△	○	68
	ガーデン管理演習	2-S2FE18			△	○	69
	フラワー装飾	2-S2SE19	○				70
	フラワーコーディネーション	2-S2FE20	○				71
	園芸福祉	2-S2FE21	△	○			72
造園工学	2-S1SE22	△		○		73	
企業実習	2-S2YE23	○				74	
資格	造園施工管理演習	2-Q2FE01	○				75

○：関連するディプロマ・ポリシー △：次に関連するディプロマ・ポリシー

科目名	英語 I							English I		担当者	西村 紀子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	<p>中学までに学んだ、基礎的な文法、語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。 英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。</p>												
授業概要	<p>基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。 日常会話でよく使う表現の「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。 毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。</p>												
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	コースの目標と内容の説明									定型文・40分		
	2	品詞について Be 動詞							語彙テスト① 30分		品詞 Be 動詞・40分		
	3	一般動詞							語彙テスト② 30分		一般動詞・40分		
	4	一般動詞と Be 動詞の区別、応用練習							語彙テスト③ 30分		一般/Be 動詞・40分		
	5	時制（現在、過去、現在進行形、過去進行形）							語彙テスト④ 30分		時制・40分		
	6	練習							語彙テスト⑤ 30分		時制・40分		
	7	文の種類（肯定文、否定文、疑問文）							語彙テスト⑥ 30分		文の種類・40分		
	8	練習							語彙テスト⑦ 30分		文の種類・40分		
	9	疑問詞を使う疑問文							語彙テスト⑧ 30分		疑問詞・40分		
	10	練習							語彙テスト⑨ 30分		疑問詞・40分		
	11	接続詞で単文をつなぐ							語彙テスト⑩ 30分		接続詞・40分		
	12	練習							語彙テスト⑪ 30分		接続詞文練習・40分		
	13	頻度の高い動詞句（希望、予定、強制）							語彙テスト⑫ 30分		動詞句・40分		
	14	練習、前期学習内容の総復習									総復習40分		
15	まとめ												
成績評価基準	平常点（70%）＋期末試験（30%）												
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）							
	30%	-	-	-	70%								
教科書	プリント配布							参考書	「英会話の基本文型87」				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。												

科目名	英語Ⅱ							English II		担当者	西村紀子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	英語Ⅰで学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。 基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。												
授業概要	基礎文法の復習を行い、英語文法の知識を確立する。 CDを使ったフレーズ練習により、英語の音や、日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。 毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。												
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	コースの目標と内容の説明									定型文・40分		
	2	to不定詞（名詞、形容詞、副詞的用法）							語彙テスト① 30分		to不定詞・40分		
	3	練習							語彙テスト② 30分		to不定詞・40分		
	4	受動態							語彙テスト③ 30分		受動態・40分		
	5	練習							語彙テスト④ 30分		受動態・40分		
	6	現在完了形（完了、経験、継続）							語彙テスト⑤ 30分		現在完了形・40分		
	7	練習							語彙テスト⑥ 30分		現在完了形・40分		
	8	現在分詞							語彙テスト⑦ 30分		現在分詞・40分		
	9	過去分詞							語彙テスト⑧ 30分		過去分詞・40分		
	10	練習							語彙テスト⑨ 30分		分詞復習・40分		
	11	関係代名詞（主格）							語彙テスト⑩ 30分		関係代名詞・40分		
	12	関係代名詞（目的格）							語彙テスト⑪ 30分		関係代名詞・40分		
	13	練習							語彙テスト⑫ 30分		関係代名詞・40分		
	14	練習、後期学習内容の総復習									総復習40分		
15	まとめ												
成績評価基準	平常点（70％）＋期末試験（30％）												
成績評価方法（割合％）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）							
	30%	-	-	-	70%								
教科書	プリント配布						参考書	「英会話の基本文型87」					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。												

科目名	スポーツ理論と実践 Sports Theory and Exercise							担当者	佐藤 功一		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯を通してスポーツを楽しむことができる。 2. 実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。 3. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。										
授業概要	本演習は「健康スポーツ」「球技」「ラケットスポーツ」「アダプテッドスポーツ」「ニュースポーツ」等を行い、生涯を通してスポーツを楽しむための知識・技能を養います。したがって、スポーツが苦手な人でも、問題ありません。また、1回目の授業より身体を動かしますので、①スポーツに相応しい服、②体育館シューズが必要になります。スポーツに相応しくない服装（アクセサリ類は外すこと、長い爪は切ること）での参加は一切認めません。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション						怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	2	健康スポーツ①						「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	3	健康スポーツ②						「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	4	球技①						「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	5	球技②						「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	6	球技③						「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	7	球技④						「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	8	球技⑤						「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	9	ラケットスポーツ①						「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	10	ラケットスポーツ②						「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	11	ラケットスポーツ③						「卓球」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	12	アダプテッドスポーツ①						「車いすバスケットボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	13	アダプテッドスポーツ②						「車いすバスケットボール」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	14	ニュースポーツ①						「フライングディスク」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
	15	ニュースポーツ②						「フライングディスク」のルールについて予習しておく(30分)	演習で行ったスポーツルールの復習(30分)		
成績評価基準	スポーツルールについてのレポートを課し、理解度について評価します(50%)。また、授業への参加状況、取り組みの様子をみて総合的に評価します(50%)。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
					50						50
教科書	必要に応じて、資料を配布します。						参考書	観るまえに読む大修館スポーツルール2019(大修館書店編集部)			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート課題は2週間以内にコメントをつけて返却します。										

科目名	生物学							Biology		担当者	清水 進			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択			
授業の到達目標	劇的に展開しつつある現在の生物学への入り口として、生物学の基礎的な知識の習得を目指します。さらに、私たちの生活を豊かにするバイオテクノロジーへの造詣を深めます。このことにより、生物の世界、分子遺伝学、生態系の役割が理解できるようになる。また、日常使われているバイオテクノロジーの適用・応用能力を高める。													
授業概要	生物学の基礎を中心にして、動物、植物および微生物の生命現象を説明します。また、自然環境についても様々な観点から解説いたします。したがって、日頃より身近な自然、生物およびバイオテクノロジーに興味を持ち、積極的に授業に参加して下さい。													
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	ガイダンス 生物の世界						生物の世界・2時間		今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間				
	2	生物の分類 種、分類群の階級、大分類						生物の分類・2時間		生物の世界・2時間				
	3	生命の単位 分子から細胞						生命の単位、細胞・2時間		生物の分類・2時間				
	4	単細胞と多細胞						単細胞と多細胞・2時間		細胞・2時間				
	5	生体内の働き 代謝と酵素						生体内の働き・2時間		単細胞と多細胞・2時間				
	6	エネルギーおよび物質の流れと生命活動						エネルギーの流れ・2時間		生体内の働き・2時間				
	7	生殖と発生 生殖様式と生活環						生殖と発生・2時間		エネルギーの流れ・2時間				
	8	遺伝と変異 遺伝子と染色体						遺伝子と染色体・2時間		生殖と発生・2時間				
	9	遺伝と変異 分子遺伝学						分子遺伝学・2時間		遺伝子と染色体・2時間				
	10	遺伝と変異 バイオテクノロジー						バイオテクノロジー・2時間		分子遺伝学・2時間				
	11	生物の集団と個体群						生物の集団と個体群・2時間		バイオテクノロジー・2時間				
	12	生物群集とその変動						生物群集とその変動・2時間		生物の集団と個体群・2時間				
	13	生態系とその平衡						生態系とその平衡・2時間		生物群集とその変動・2時間				
	14	環境問題と自然保護						環境問題・2時間		生態系とその平衡・2時間				
	15	まとめ						今までの授業内容をまとめの前に予習する・2時間		環境問題・2時間				
成績評価基準	生物の世界、分子遺伝学、生態系の役割およびバイオテクノロジーの理解度（筆記試験）と授業への取組により評価する。													
成績評価方法（割合％）	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他（ ）
	80%											20%		
教科書	必要に応じて資料を配布します。						参考書		生命科学のための基礎シリーズ「生物」実教出版					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。													

科目名	茶道文化 I Culture of Tea Ceremony I							担当者	黒岩 富美枝		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	<p>茶の湯は、日本古来より「もてなし」の文化と言われています。もてなしの中心は「一服のお茶を点でて出し、美味しく飲んでいただく」ことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な所作や手順を繰り返し稽古することで、美しい所作やゆとりのある動きが出るようになります。 ・日常生活の中で取り入れやすく、全てのお点前の基礎となるテーブル茶（盆点前）で、お茶を点でて、出せるようになります。 ・四季の移ろいを、通学路や自分の周り、お花、季節の行事などで感じることができるよう意識できるようになります。 ・電子レンジで出来る、簡単な和菓子を作ります、 										
授業概要	<p>1. 茶の湯の歴史 2. 和室（茶室）の成り立ちと基本所作 3. 客の心得 4. お運び 5. 日本茶の種類と淹れ方 6. 茶の湯の道具 7. 水屋の仕事 8. 割稽古 9. テーブル茶（盆点前）の点前 10. レンジで作る和菓子</p>										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	茶の湯とは？					オリエンテーション	シラバスの確認 30分		シラバスを読む 30分	
	2	●和室（茶室）の成り立ち：お辞儀 薄茶の点前を見る						シラバスの確認 30分		プリント確認（お辞儀） 30分	
	3	●和室①基本所作（立居他）客の心得（つくばい）						基本所作 お辞儀 30分		つくばいの使い方 イメージトレーニング 30分	
	4	●和室②基本所作（歩き方 襦の開閉）客の心得（席入り）						つくばいの使い方 30分		基本所作と席入り 30分	
	5	客の心得（菓子と薄茶のいただき方）						席入り・基本所作 30分		菓子・薄茶の いただき方 30分	
	6	日本茶の種類と淹れ方						客の心得確認 30分		プリント確認 30分	
	7	水屋の仕事（水屋の配置と道具点前の準備と後始末、手入れと保管）						客の心得確認 30分		プリント確認 30分	
	8	割稽古（基本）①服紗の扱い（服紗さばき）						道具の名前確認 30分		服紗さばき 30分	
	9	割稽古（基本）②茶器・茶杓を拭く						服紗さばき 30分		服紗さばき 30分	
	10	割稽古（基本）③茶巾の扱い茶筌通し、茶筌すすぎ						服紗さばき 30分		茶巾のたたみ方 30分	
	11	テーブル茶（盆点前）・物の持ち方						茶筌通し イメージトレーニング 30分		道具の置き合せ 30分	
	12	テーブル茶（盆点前）・茶碗について						点前のイメージ トレーニング 30分		点前のイメージ トレーニング 30分	
	13	電子レンジで和菓子を作る（調理室）						レシピのプリント 確認 30分		レポート 30分	
	14	テーブル茶点前（盆点前）						点前のイメージ トレーニング 30分		点前のイメージ トレーニング 30分	
15	（まとめ）2人1組 客と亭主に分かれ茶を点て出す						点前のイメージ トレーニング 30分		まとめ 30分		
成績評価基準	<p>1. お客様役の学生に会話を楽しみながら、お菓子を出し、テーブル茶の点前で一服点でて、もてなすことができる。（亭主として） 2. 床、点前座の拝見、干菓子や主菓子のいただき方、薄茶のいただき方等客の心得ができる。 3. 点前で使用する道具の準備、後始末、保管ができる。お茶とお菓子のお運びができる。</p>										
成績評価方法（割合）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）
			65%		10%		10%		15%		
教科書	プリントを配布する					参考書	江戸千家教本「基本の点前」				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	次の授業時間に講評する										

科目名	茶道文化Ⅱ Culture of Tea Ceremony Ⅱ							担当者	黒岩 富美枝			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	<p>・風炉と炉の違いを具体的に述べ、風炉の平点前と炉の平点前を実践します。</p> <p>・茶の湯は、伝統工芸、美術工芸など日本文化を代表する総合芸術です。茶室などの建築、露地を含む庭、書、茶道具、やきもの、工芸、料理、菓子にまで及びます。それらは、写真集や現物を準備して紹介していきます。</p> <p>また、美術館の見学もする予定です。</p> <p>・竹を削り、茶杓を作ります。茶杓には、自分で「銘」を付けます。</p> <p>・まとめとして、簡単な茶事の実践を行います。茶事の主役である濃茶もいただきます。</p>											
授業概要	<p>1. 風炉の運び点前 2. 風炉と炉の違い（炭・釜・香・花入・花）</p> <p>3. 総合芸術としての茶の湯（露地、やきもの、掛け物、茶道具、料理他）</p> <p>4. 炉の運び点前 5. 茶事の流れ（懐石について） 6. 茶杓作り 7. 美術館見学</p>											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	お客の心得、風炉と炉（季節と茶道具）						お客の心得確認（30分）	プリント確認（30分）			
	2	風炉の薄茶点前（柄杓の扱い）						服紗さばき（30分）	柄杓の扱い イメージトレーニング（30分）			
	3	風炉の薄茶点前（点前道具の置き合せ）						足の運び方（30分）	点前の イメージトレーニング（30分）			
	4	福岡東洋陶磁器美術館見学							レポート作成（60分）			
	5	風炉の薄茶点前 ・花と花入						点前のイメージ トレーニング（30分）	点前の イメージトレーニング（30分）			
	6	風炉の薄茶点前 ・露地について						点前のイメージ トレーニング（30分）	点前の イメージトレーニング（30分）			
	7	床と掛け物（軸の取り扱い方）						プリント確認（30分）	お運びの所作（30分）			
	8	炉の薄茶点前 点前道具の置き合せ						服紗さばき（30分）	点前のイメージ トレーニング（30分）			
	9	炉の薄茶点前 炭について（香と香合）						道具の仕組み方（30分）	点前のイメージ トレーニング（30分）			
	10	炉の薄茶点前 やきもの						点前のイメージ トレーニング（足の運び）（30分）	点前のイメージ トレーニング（30分）			
	11	炉の薄茶点前 「銘」について（会記）						点前のイメージ トレーニング（足の運び）（30分）	点前のイメージ トレーニング（30分）			
	12	炉の薄茶点前 茶杓作りの説明						点前のイメージ トレーニング（足の運び）（30分）	茶杓の銘を考える （30分）			
	13	オリジナル茶杓作り（銘をつける）						配布プリントの確認 （30分）	茶杓の仕上げ（30分）			
	14	茶事の流れ（懐石について） 食事のいただき方						配布プリントの確認 （30分）	濃茶の飲み方（30分）			
	15	まとめ 点心茶事の実践と濃茶をいただく						プリント確認（60分）				
成績評価基準	<p>1. 点前では、茶碗の仕組み、建水への仕組ができる。次の動作が出来る①道具を選び出す②道具を清め置きかえる③薄茶を点てて出す④道具を清め片づける。</p> <p>2. 茶事の実践 客として基本所作と立ち居ふるまいができ、席入りができる。それぞれの場面でのお辞儀ができる</p> <p>3. 自分の設計通りに削れているか。本来の目的である抹茶がすくえるように作られているか？</p>											
成績評価方法（割合）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（案内）						
		65%	10%			10%	15%					
教科書	プリントを配布する						参考書	江戸千家教本 「基本の点前」				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	茶杓はコメントをつけて返却する。											

科目名	キャリアデザイン Career Design							担当者	佐々木一成 西川 真水 高宮さやか 田上 博 山本 俊光			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活環境への適応し、変化に対する円滑な対応と、豊かな人間性、高い倫理観を養うことができる。 ・社会に貢献できる職種としての自覚を持つことができる。 ・自己を知り、他者の気持ちを感じ取り、人間理解を深め、造園・土木・建築・園芸・環境保全で働く者としての考え方や心構えを持つようになる。 ・10年後、20年後も充実した生活を送ることができるような人生設計を行う。 											
授業概要	短大を卒業すると、学生生活の締めくくり、就職して働くことになります。短大での2年間は学生から社会人への大事に移行期間です。本科目では、みなさんのキャリア（職歴）だけでなく、人生設計（ライフデザイン）も視野に入れ、どのように働き、どんな生活を送っていくのかを、考える科目です。職業についてや、今後の人生設計を考えるために、教員だけでなく多くの先輩や社会人の方の話を聞き、自分の将来を考え、就職活動に臨み、卒業後に充実した人生を送ることができる、キャリアデザインを行う科目です。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	自己紹介、クラス代表選出、学科コース・キャリアデザインについて						シラバスに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	2	ポートフォリオ1：ポートフォリオと学習歴						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	3	ノートのとり方・レポートの書き方						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	4	ポートフォリオ2：写真の撮り方と活用						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	5	ポートフォリオ3：自分の特徴・経験を整理する						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	6	職能ガイダンス1：職域と取り扱う空間・環境						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	7	職能ガイダンス2：職能と企業研究						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	8	職能ガイダンス3：社会人から学ぶ／社会の話題						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	9	ポートフォリオ4：実習のまとめ1						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	10	職能ガイダンス5：資格ガイダンス						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	11	ポートフォリオ5：実習のまとめ2						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	12	◇進路ガイダンス：就職模擬試験						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	13	ライフデザイン：キャリアデザイン（コース選択）						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
	14	ポートフォリオ6：実習のまとめ3						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）		
15	ポートフォリオ7：自分の学習履歴をまとめる						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
成績評価基準	主に授業の取組と課題提出によるが、授業の取組（参加姿勢）60%、課題提出40%で評価する。											
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）						
			40		60							
教科書	プリントを配布する						参考書	学生のためのキャリアデザイン入門（中央経済社）				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 課題（実習のまとめのポートフォリオ）の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	ポートフォリオデザイン Portfolio Design							担当者	佐々木一成 西川 真水 高宮さやか 田上 博 山本 俊光				
	開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数		1	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がこれまでにやってきた様々な体験を整理することができる。 ・自分自身のポートフォリオをまとめ、作成することができる。 ・就職活動に向けて準備を行うことができる。 ・10年後、20年後も充実した生活を送ることができるような人生設計を行うことができる。 												
授業概要	<p>学生のみなさんは2年間という短い時間の中でプロフェッショナルとして成長しなければなりません。学んだことをただ「やった」・「できた」・「終わった」で済ましてしまわず、さらにそれらをまとめ（復習）し、評価し、さらに課題を見つけ出すこと（予習）につなげることが大切です。そして、ゆったりするまもなく就職・進学という場面を迎えることになります。そんなときにいかにプレゼンテーションをしていくかが重要になってきます。自分自身を振り返り、就職活動に活用できるポートフォリオを作成しましょう。</p>												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	自己分析						シラバスに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	2	◇進路ガイダンス：適性検査						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	3	ポートフォリオ8：実習のまとめ						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	4	職能ガイダンス6：社会人から学ぶ／業界の話題						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	5	◇履歴書の書き方						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	6	ポートフォリオ9：レイアウトの基本と表紙のデザイン						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	7	◇進路ガイダンス：適性検査結果配布および解説						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	8	ポートフォリオ10：実習のまとめ						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	9	メイクアップ講座						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	10	ポートフォリオ11：実習のまとめ						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	11	ゼミナールガイダンス						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	12	◇マナー講座						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	13	職能ガイダンス7：社会人から学ぶ／業界の話題						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	14	就職活動にむけて（服装編）						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
	15	ポートフォリオ12：全体のまとめと展開						配布したプリントに目を通すこと（1時間）		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（1時間）			
成績評価基準	主に授業の取組と課題提出によるが、授業の取組（参加姿勢）50%、課題提出（ポートフォリオ課題提出）50%で評価する。												
成績評価方法（割合%）	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他（ ）
							50				50		
教科書	プリントを配布する						参考書		「就職活動ハンドブック」 （株式会社ディスコ）				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	<p>講評や解説の時間を設ける。 課題（実習のまとめ、表紙等のポートフォリオ）の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。</p>												

科目名	総合実習 前期 (3コース共通) General Practical Training							担当者	山本 俊光 高宮さやか 実務家教員 (高宮)					
	開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数		2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	必修	
授業の到達目標	緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通して、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。													
授業概要	少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。 前期終盤では造園技能士2、3級の検定課題に取り組む(未経験者は3級から)。 2級取得済みの学生には別途プログラムを準備する。(資格の種類によっては材料費が発生することもある)													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	オリエンテーション						各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間)		安全管理に関する内容を復習する(2時間)				
	2	学外実習(国営海の中道海浜公園他見学)						見学予定地の公園について下調べをしておく(2時間)		見学した内容のレポート作成(2時間)				
	3	生物調査						生物の分類体系を学習しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	4	ハンギングバスケット						使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間)		使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)				
	5	玉掛・クレーン						機械施工について調べておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	6	剪定・刈込						身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	7	剪定・刈込						身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	8	増殖工						園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	9	草花園芸						使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間)		使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)				
	10	間伐・林内管理						植林に使われる樹種を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	11	技能検定(ガイダンス・竹垣)						実習場内の竹垣や園路を観察しておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	12	技能検定(緑石)						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	13	技能検定(敷石)						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	14	技能検定(整地)						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	15	技能検定(全工程)						最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
				30%						20%		50%		
教科書	労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』各授業の配布プリント						参考書		上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店 中野正生『ガーデンデザイン入門』					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。													

科目名	総合実習 後期(ガーデンデザイン) General Practical Training							担当者	山本 俊光 高宮さやか 実務家教員(高宮)					
	開講年度	2020	学年	1	開講期	通年	単位数		2	授業形態	実習	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通して、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。													
授業概要	少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	草花園芸(色彩)						色の三属性について調べておく(2時間)		草花の色ごとの使い分けを検討する(2時間)				
	2	草花園芸(堆肥・土壌)						堆肥の種類、土壌の種類について調査する(2時間)		堆肥と土壌の関係を整理しておく(2時間)				
	3	園芸装飾						草花の取り扱いや配置について事前調査をする(2時間)		うまくいかなかった工程を練習する(2時間)				
	4	基本石組						庭園の写真集などで石組をみておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	5	ガーデン石組(レンガ組積工)						庭園内施設にどのようなものがあるかを調べておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	6	草花園芸(花壇)						使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間)		使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)				
	7	草花園芸(播種)						使用する種の特徴や原産地等の基礎情報を調査(2時間)		使用した種の特徴をまとめる(2時間)				
	8	ハンギングバスケット						前期の実習の反省点を書き出しておく(2時間)		技術力を前期と比べてレポート作成(2時間)				
	9	小空間の造形(施工)						今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	10	小空間の造形(施工)						使用する材料の特性を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	11	小空間の造形(施工)						構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	12	小空間の造形(施工)						庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	13	小空間の造形(施工)						庭園によく使われる樹種を調べる(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	14	小空間の造形(施工)						外構によく使われる樹種を調べる(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	15	小空間の造形(施工)						計画図と竣工したものの変更箇所を確認しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
				30%						20%		50%		
教科書	労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』各授業の配布プリント						参考書		(一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園施工管理技術編』 中野正生『ガーデンデザイン入門』					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。													

科目名	総合実習 後期 (造園芸術) General Practical Training							担当者	山本 俊光 高宮さやか 実務家教員 (高宮)						
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年	単位数	2	授業形態	実習	必修・選択の区分	必修				
授業の到達目標	緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通して、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。														
授業概要	少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。														
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間					
	1	コンクリート工					コンクリートの材料について調べておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)						
	2	基本石組					庭園の写真集などで石組をみておく(2時間)		施工したものをラフスケッチする(2時間)						
	3	滝流れ石組					庭園の写真集などで滝石組をみておく(2時間)		施工したものをラフスケッチする(2時間)						
	4	移植					樹木の根系について調べておく(2時間)		掘った根の写真を見てスケッチする(2時間)						
	5	移植					樹木の根系について調べておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)						
	6	蹲踞・灯籠・延段					庭園の写真集などで蹲踞・灯籠をみておく(2時間)		施工したものをラフスケッチする(2時間)						
	7	蹲踞・灯籠・延段					庭園の写真集などで飛び石や園路をみておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)						
	8	病虫害防除					身近な樹木の病徴を観察する(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)						
	9	小空間の造形(施工)					今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	10	小空間の造形(施工)					使用する材料の特性を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	11	小空間の造形(施工)					構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	12	小空間の造形(施工)					庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	13	小空間の造形(施工)					庭園によく使われる樹種を調べる(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	14	小空間の造形(施工)					外構によく使われる樹種を調べる(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)						
	15	小空間の造形(施工)					計画と竣工を比較し変更箇所を確認しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)						
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。														
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()	
				30%						20%		50%			
教科書	労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』各授業の配布プリント						参考書	上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店(一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園施工管理技術編』							
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。														

科目名	総合実習 後期(自然環境デザイン) General Practical Training							担当者	山本 俊光 高宮さやか 実務家教員(高宮)					
	開講年度	2020	学年	1	開講期	通年	単位数		2	授業形態	実習	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通して、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。													
授業概要	少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	基本石組						庭園の写真集などで石組をみておく(2時間)		施工したものをラフスケッチする(2時間)				
	2	滝流れ石組						庭園の写真集などで瀧石組をみておく(2時間)		施工したものをラフスケッチする(2時間)				
	3	ビオトープ石組						学会誌などで施工例をみておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	4	移植						樹木の根系について調べておく(2時間)		掘った根の写真を見てスケッチする(2時間)				
	5	移植						樹木の根系について調べておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	6	植生調査						調査予定地(実習場内)を下見しておく(2時間)		現場で見た樹種の特徴を調べる(2時間)				
	7	植生調査						調査予定地(実習場内)を下見しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	8	ビオトープ管理						作業予定地を下見し、必要な作業を推定しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	9	小空間の造形(施工)						今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	10	小空間の造形(施工)						使用する材料の特性を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	11	小空間の造形(施工)						構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	12	小空間の造形(施工)						庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	13	小空間の造形(施工)						庭園によく使われる樹種を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	14	小空間の造形(施工)						外構によく使われる樹種を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	15	小空間の造形(施工)						計画図と竣工したものの変更箇所を確認しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
				30%						20%		50%		
教科書	労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』各授業の配布プリント						参考書		上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店(一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園施工管理技術編』					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。													

科目名	ランドスケープデザイン論 Landscape Design						担当者	西川 真水							
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修				
授業の到達目標	①造園・ランドスケープのデザインを行うための基礎的なボキャブラリーの意味を説明できる。 ②空間・環境におけるデザインの考え方、デザインプロセスの事例や方法の知識を学び、説明できる。 ③ランドスケープ・外部空間・緑のデザインのあり方や技術について理解し、説明できる。														
授業概要	私達を取り巻く環境は大きく「自然環境」と「社会（人文）環境」とに分けられる。しかし緑地環境・造園・ランドスケープの職能域は、この両方の環境の良好な関係をいかに形成していくかと言うところに独自性がある。本講義ではただ単に「モノ」のデザインにこだわらず「コト」という状況・現象のデザインとしてのランドスケープデザインを考え、農村や生物の生息空間から地域、建築、インテリア、プロダクト、そして最後に国内外のランドスケープデザインまでを横断する。														
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間						
	1	イントロダクション					講義要項を熟読しておく（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	2	ランドスケープの世界1：自然環境とそのとらえ方					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	3	ランドスケープの世界2：人文・社会環境とそのとらえ方					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	4	ランドスケープエコロジー、自然環境と共生、緑地環境と生き物と空間					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	5	都市近郊農村と環境のデザイン、都市の水環境					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	6	景観と文化の多様性：庭園の空間デザインを事例に					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	7	都市環境とデザイン：地域計画とランドスケープデザイン					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	8	都市環境とデザイン：建築・アーバンデザイン					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	9	身の回りのデザイン：インテリア、プロダクトデザインと環境					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	10	地形とランドスケープのデザイン					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	11	都市・住居と環境のデザイン					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	12	ランドスケープデザインとスケール					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	13	ランドスケープデザインの形態操作と概念操作					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	14	ランドスケープデザインの用強美					前回の講義ノートの確認（2時間）		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく（2時間）						
	15	まとめ					前回までの講義ノートの確認（2時間）		講義ノートのまとめ（2時間）						
成績評価基準	それぞれ到達目標に対する配分として①30%②30%③40%を目安とする。 毎回講義で配布する講義ノートを最終講義終了後提出し評価する。ノートは講義中の記録、キーワード、講義中わからなかった言葉や事項について調べてあるか、レアウト・記録方法を評価する。														
成績評価方法（割合）	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他（ ）	
	70%											30%			
教科書	プリントを配布						参考書	「ランドスケープデザインの視座」 宮城俊作／学芸出版社							
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	提出されたノートは、問題点や評価点を記載し返却する。														

科目名	造園史						Garden History		担当者	西川真水		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	造園・ランドスケープに関する歴史観を形成するための時代の流れと基礎知識を学び、造園・ランドスケープの様々な技術や空間のポキャブラリーを習得することが本講義の目的であり、以下の到達目標を設定する。 ①日本及び西洋の庭園の歴史様式、ポキャブラリー、その流れについて説明できる。 ②近代以降の公園、都市における造園・ランドスケープの歴史的な流れと特徴について説明できる。 ③各時代の造園・ランドスケープ空間の時代的な成立背景について説明できる。											
授業概要	造園・ランドスケープの歴史を近代以前の庭園の時代とそれ以降の都市の時代に分け、前半は日本の庭園の歴史とヨーロッパを中心とする庭園の歴史について講義し、後半は都市空間における近代以降の造園の歴史として都市公園の成立や田園都市・郊外など緑地計画の歴史について講義する。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	造園の語源とランドスケープの語源、日本の造園の起源					日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	2	奈良時代・平安時代・鎌倉時代・南北朝時代の庭園					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の歴史の教科書で取り扱う時代の出来事を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	3	室町時代・安土桃山時代の庭園					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の歴史の教科書で取り扱う時代の出来事を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	4	室町時代・安土桃山時代の庭園					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の歴史の教科書で取り扱う時代の出来事を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	5	江戸時代の庭園					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の歴史の教科書で取り扱う時代の出来事を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	6	ヨーロッパ・古代の造園と都市空間					前回の講義ノートの確認と、取り扱う地域の歴史と地理を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	7	中世の庭園、スペインの庭園					前回の講義ノートの確認と、取り扱う地域の歴史と地理を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	8	イタリルネサンス期の庭園とフランス式庭園の完成と他国への影響					前回の講義ノートの確認と、取り扱う地域の歴史と地理を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	9	イギリス風景式庭園の形成と変化					前回の講義ノートの確認と、取り扱う地域の歴史と地理を整理しておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	10	都市公園の形成(欧米)					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の教科書などで取り扱う時代背景と地理について調べておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	11	都市公園の形成(欧米)と田園都市					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の教科書などで取り扱う時代背景と地理について調べておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	12	日本における都市公園の形成					前回の講義ノートの確認と、中学・高校の教科書などで取り扱う時代背景と地理について調べておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	13	現代の造園					前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	14	現代の造園					前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間)		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	15	まとめ					今までの講義ノートを整理し、ファイリングしておく。		講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
成績評価基準	それぞれ到達目標に対しての配分として①30%②30%③40%を目安とする。 毎回講義で配布する講義ノートを最終講義終了後提出し評価する。ノートは講義中の記録、キーワード、講義中わからなかった言葉や事項について調べてあるか、レイアウト・記録方法を評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	70%		30%						30%			
教科書	プリントを配布					参考書		「日本の庭園」進士五十八/中公新書 都市緑地の計画と設計/内山正雄/彰国社				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	提出されたノートは、問題点や評価点などを記載し返却する。											

科目名	庭園設計論 Theory of Garden Planning and Design							担当者	久保田 家 且 実務家教員		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	1. 日本庭園と西洋庭園との相違点や日本庭園の様式及び基本的技法等知識の習得。 2. 庭園設計に必要な基礎調査や設計手法を学び、単に、庭園を整備するだけでなく、庭園の設計もできる造園家になるための知識の習得以上のことを目標とする。										
授業概要	1. 庭園を我が国の伝統的な日本庭園と西洋庭園に大別し、各々の特徴を論じるとともに、主に、日本庭園を構成する諸施設や庭園材料並びに設計フローや設計手法等の詳細を講義する。 2. さらに、実際に行われた庭園設計の実例を紹介し、整備されたその庭園を見学するとともに評価する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	ガイダンス、庭園概論						日本庭園に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	2	日本庭園の様式						日本庭園に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	3	日本庭園の基本的技法						日本庭園に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	4	庭園材料						日本庭園に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	5	庭園施設、工作物						日本庭園に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	6	庭園設計Ⅰ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	7	庭園設計Ⅱ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	8	庭園設計Ⅲ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	9	庭園設計Ⅳ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	10	庭園設計の実際Ⅰ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	11	庭園設計の実際Ⅱ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	12	庭園見学						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	13	庭園設計の実際Ⅲ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	14	庭園設計の実際Ⅳ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	15	まとめ						庭園設計に関する書籍等により予習しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
成績評価基準	筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	60	30			10						
教科書	プリントを配布する。					参考書	「日本の庭園」進士五十八 中央公論新社、 「造園施工管理技術編」日本公園緑地協会造園施工管理委員会				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート等は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	造園樹木学 Landscape Tree & Shrubs							担当者	大石道義				
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修		
授業の到達目標	1. 造園樹木材料について豊かに精通し、造園家として使いこなせるようになること。 2. 「植物(樹木)と人間」のよりよい関係について常に考え、その橋渡し役として、社会的ニーズ+ヒューマンニーズに、よりの確な植栽計画(緑地生活と自然環境保全)により応えられるようになること。 3. 自分自身で樹木検索ができるようになること。												
授業概要	1. 植物及び樹木の分類と命名 2. 植物と衣食住・産業・風景・文化・Q.L.・セラピー・歳時記等との関連 3. 樹木の形態・生理・管理の基本 4. 造園樹木材料の生産と流通 5. 押し葉標本の作り方 6. 樹木検索の方法 7. 造園植栽の意義と要件 8. 代表的な花木・庭木・公園樹・街路樹												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	ガイダンス、造園材料の分類、植物及び樹木の諸分類と造園の分類					あらかじめ予告のテキスト指定ページで予習/2時間		指定様式・用紙の「授業日報」等/2時間				
	2	樹木の形態、樹木の命名、樹木の生理と環境耐性・管理					〃 / 〃		〃 / 〃				
	3	造園樹木材料の生産・流通・規格、造園植物の要件					〃 / 〃		〃 / 〃				
	4	造園樹木の増殖と生産の実際					〃 / 〃		〃 / 〃				
	5	押し葉の制作法、葉面水彩プリント法					〃 / 〃		〃 / 〃				
	6	木竹工芸体験(園芸福祉・環境福祉)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	7	主要な庭園樹・公園樹・街路樹(1)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	8	〃 〃 〃 (2)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	9	〃 〃 〃 (3)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	10	樹木検索/広葉樹(1)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	11	〃 / 〃 (2)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	12	〃 / 〃 (3)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	13	〃 / 針葉樹(1)					〃 / 〃		〃 / 〃				
	14	〃 / 〃 (2)					〃 / 〃		〃 / 〃				
15	樹木実物鑑定試験					〃 / 〃		〃 / 〃					
成績評価基準	(到達目標1、2、3共通)・90~100 極めて達成 ・80~89 かなり達成 ・70~79 普通に達成 ・60~69 まあ達成 ・59以下 達成できていない												
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他(実物試験)
	40			10			20						30
教科書	「樹木ガイドブック」上原敬二、朝倉書店 「葉で見わかる樹木 増補改訂版」林将之、小学館 「くらしを楽しむ庭木の本」講談社 「くらべてわかる葉っぱ」林将之、山と溪谷社							参考書	「グリーンセイバー—植物と自然の基礎を学ぶ」岩槻邦男監修、研成社 「日本の樹木」林弥栄監修、山と溪谷社 「ランドスケーププランツ」浅野二郎ら監修、ワールド出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題はコメントをつけて返却する。												

科目名	樹木学実習 Tree & Shrubs Practice						担当者	大石道義			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	実習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	1. 科・属の視点で、樹木の体系的分類がとらえることができるようになる。 2. 実習場での実物識別研修により、樹木鑑定ができるようになる。 3. 社会的ニーズやヒューマンニーズを的確に把握するとともに、豊かなりソースにてリーズナブルな植栽計画を提示できるようになる。										
授業概要	1. 二大キャンパス樹木園において、「科・属」毎に主要樹種について、鑑定・植栽・育成・管理・鑑賞・造園の用途、暮らし産業的用途等について修得していく。 2. 樹木の押し葉並びに、樹木特性データシートを指定用紙でセットで制作する。 3. 実物鑑定試験を実施し、修得度のみえる化・自覚化につとめる。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	ガイダンス、海岸林樹木観察					あらかじめ予告の指定テキストページ/2時間		指定様式・用紙の「授業日報」等/2時間		
	2	樹木増殖、「押し葉&データシート」課題制作開始					〃 / 〃		〃 / 〃		
	3	樹木各論：まつ科、ひのき科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	4	樹木園樹木マップ、樹木ラベル制作管理					〃 / 〃		〃 / 〃		
	5	樹木各論：にれ科、もくれん科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	6	〃：くすのき科、ゆきのした科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	7	樹木園樹木マップ、樹木ラベル制作管理					〃 / 〃		〃 / 〃		
	8	樹木各論：ばら科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	9	〃：まめ科、むくろじ科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	10	樹木園樹木マップ、樹木ラベル制作管理					〃 / 〃		〃 / 〃		
	11	樹木各論：もくせい科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	12	〃：すいかずら科、他					〃 / 〃		〃 / 〃		
	13	応用樹木実習（樹木活用リース創り、他）					〃 / 〃		〃 / 〃		
	14	樹木実物鑑定試験					〃 / 〃		〃 / 〃		
	15	植栽用途別・耐性別・適性別まとめ					〃 / 〃		〃 / 〃		
成績評価基準	（到達目標 1、2、3 共通）・90～100 極めて達成 ・80～89 かなり達成 ・70～79 普通に達成 ・60～69 まあ達成 ・59以下 達成できていない										
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（実物試験）
	20		20		30				10		20
教科書	「樹木ガイドブック」上原敬二、朝倉書店 「葉で見分ける樹木」林将之、小学館 「くらべてわかる葉っぱ」林将之、山と溪谷社 「くらしを楽しむ庭木の本」講談社 「改訂造園施工管理 技術編」日本公園緑地協会						参考書		「日本の樹木」林弥栄監修、山と溪谷社 「ランドスケーププランツ」浅野二郎監修、ワールド出版 「小学館の図鑑・NEO ②植物」小学館		
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	・樹木実物鑑定試験では、70点以上取得できるまで、当日内に連続して受験させて、実力を向上させる。 ・「押し葉&データシート」課題（全50種）では、1枚（表面・裏面）ずつの面談チェックを行なう。										

科目名	環境設計演習 I Landscape Design Practice I							担当者	西川 真水			
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	必修	
授業の 到達目標	①ランドスケープ・造園・緑化などに関係する図面を理解できる。 ②平面図や立面図など造園・ランドスケープにかかわる図面を描ける。 ③様々なスケール・尺度を理解し、身体化する。 ④複数名で協働し様々なアイデアを共有・発想し、そのためのコミュニケーションが取れる。 ⑤様々な空間の読み取り、敷地条件の読み取りができる。											
授業概要	緑地環境で取り扱う対象空間・環境は多岐にわたり、その敷地のスケールや規模によってさまざまな視点から空間と向き合うことが求められる。本演習では、単に設計のテクニックにとどまることのみでなく、緑地環境空間におけるデザイン行為にかかわる基礎的な考え方、手法、実際の空間をどのようにあつかうのかという作法を学ぶ。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	緑地環境にかかわる図面：平面図へのカラーリング						色鉛筆を使って絵を描いてみる	色鉛筆を使って絵を描いてみる			
	2	植物のかたち：高木の樹形の模型製作						福浜キャンパスにある樹木の名前と形を調べておく	作成した樹木のモデルになった樹木の絵を描いてみる			
	3	みどりウォッチング：地域の緑環境の調査						自分の地元どんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく	調査メモと写真の整理			
	4	みどりウォッチング：地域の緑環境の調査						自分の地元どんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく	調査メモと写真の整理			
	5	みどりウォッチング：地域の緑環境の調査						調査メモと写真の整理	自分の地元どんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく			
	6	ワークショップの方法：ブレインストーミング						ファシリテーションについて予習しておく	ブレインストーミングで出たアイデアを整理しておく			
	7	ワークショップの方法：ブレインストーミング						ファシリテーションについて予習しておく	周りの人と、任意のテーマでブレインストーミングしてみる			
	8	緑地環境にかかわるスケールの考え方：空間の大きさ						自分の一歩の幅を調べておく	身の回りにあるものを自分の身体を使って測ってみる			
	9	植栽の密度・間隔・感じ方						大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく	メモや写真を整理しておく			
	10	植栽の密度・間隔・感じ方						大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく	メモや写真を整理しておく			
	11	植栽の密度・間隔・感じ方						大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく	メモや写真を整理しておく			
	12	地形の見方：地形と等高線						三角スケールの見方使い方を理解しておく	配布された資料の等高線をなぞってみる			
	13	地形の見方：地形模型						線の引き方を練習しておく	配布された資料の等高線をなぞってみる			
	14	地形の見方：レベルの取扱いと階段						周囲の階段について写真を取り調べておく	配布された資料の計算問題を行っておく			
	15	地形の見方：レベルの取扱いと階段						スロープや傾斜について配布資料を読み理解しておく	配布された階段の練習問題を行っておく			
成績評価基準	前期の評価は、課題成果品85%、演習態度15%の構成とする。到達目標①～⑤までに対して特にそれぞれの提出課題の精度、レイアウト、仕上がりが具合の観点から判断し評価する。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
					85%				15%			
教科書	プリントを配布する						参考書	造園図面の表現と描法 造園図面の表現と描法Ⅱ／野沢清・小板橋二三男／誠文堂新光社				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講義内、学びの発表会において講評の時間を設ける。											

科目名	環境設計演習 I Landscape Design Practice I							担当者	西川 真水					
開講年度	2020	学年	1	開講期		通年(後期)		単位数	4	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	①課題条件を読み取り、条件を整理できる。 ②条件を理解し、そこにあるべき空間のコンセプトを組み立てることが出来る。 ③条件、コンセプトを組み立てながら、空間の構造、材料、植栽を検討しながら、課題空間を形としてまとめることが出来る。 ④構想された空間を縮尺1/50～1/100の図面(平面・立面等)を作成することが出来る。 ⑤プレゼンテーションボード(A1サイズ)をパソコンを使い作成できる。													
授業概要	前期で学んできたことを踏まえ、与えられた小空間の設計に取り組む。コースごとに別れ、あたえられた条件を読み取り、それぞれにテーマ・設計条件を整理しながらコンセプトメークとリアライズを行う。この演習では、実際に与えられた諸条件、敷地の条件を読み取り、さらには社会的要請に配慮し盛り込みながらデザインを進め、提案を行う。ここでは独りよがりなモノとしての「かたち」ではなく、デザインのプロセスに重点を置き価値ある「かたち」がいかに生まれるかの流れをスタディする。同時に、提案に必要な伝えるためのツールづくりにも力を置く。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	小空間のデザイン：班ごとにテーマ設定					庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する		資料シート用の図面の作成をしておく					
	2	基本構想：敷地の課題・問題点と測量					庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する		資料シート用の図面の作成をしておく					
	3	計画平面図：デザインコードの設定					庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する		資料シート用の写真の整理をしておく					
	4	〃					平面図の書き方を予習しておく		資料シート用の写真の整理をしておく					
	5	〃					平面図の書き方を予習しておく		問題点の修正					
	6	詳細図及び材料数量表					配布資料を熟読しておく		問題点の修正					
	7	〃 及び工程表					配布資料を熟読しておく		問題点の修正					
	8	施工計画書作成					配布資料を熟読しておく		問題点の修正					
	9	断面詳細図					断面図について書き方を予習しておく		問題点の修正					
	10	〃					問題点を修正した断面図を描いておく		修正点の整理					
	11	〃					問題点を修正した断面図を描いておく		修正点の整理					
	12	積算と見積り					配布資料を熟読しておく		問題点の修正					
	13	積算の方法					配布資料を熟読しておく		問題点の修正					
	14	CAD 図面作成					パソコンの使い方を予習しておく		パソコンの使い方を復習しておく					
15	CAD 図面作成とプレゼンテーションの作成					illustrator の使い方を予習しておく		問題点の修正						
成績評価基準	成績評価の構成は課題成果品85%、演習態度15%とし、到達目標の①～④に対し、授業のそれぞれの課題図面等が30%、それらをまとめた最終成果物として提出されるプレゼンテーションボードでその内容を精査し総合的に評価を行う。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
							85%					15%		
教科書	プリントを配布する							参考書	造園図面の表現と描法 造園図面の表現と描法Ⅱ／野沢清・小板橋二三男／誠文堂新光社					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題は①中間及び最終時に発表と講評の時間を設ける。②最終的に提出されたプレゼンテーションボードに問題など講評・コメントをつけて返却する。													

科目名	製図演習 Drawing Practice							担当者	佐々木 一成		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	①造園・ランドスケープに関わる設計の基本を習得できること。 ②造園・ランドスケープ・関係分野に関わる計画設計図書を理解できること。 ①～②を製図演習の入門とし、前半は「建築・環境の概念」、「建築・環境計画・設計の基本とアプローチ」、そして後半に「建築景観とフィールド・リテラシー」を行い、この3つの内容を理解すると共に、教員および学生同士のコミュニケーションを通じ、製図演習に対するモチベーションを高めることを目標とする。										
授業概要	この講義では、造園・ランドスケープに関わる設計作図技術の基本を学ぶ。線の引き方から、平面図、立面図、パースの作図方法と表現方法を実際の空間の見学や実測も入れながら、計画設計と実際の空間のとの関係も学んでいきます。最低限必要な基本的な表現方法を習得し、環境設計演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲや様々な空間制作へのステップアップを行います。製図の技術は、日常的な練習が必要です。日頃からスケッチをしたり線を引く練習をしましょう。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	本演習の概要説明						シラバスに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	2	設計の留意事項						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	3	対象地の実測①（公園設計）						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	4	対象地の実測②（公園設計）						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	5	作図①						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	6	作図②						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	7	計画①						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	8	計画②						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	9	設計・製図①						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	10	設計・製図②						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	11	設計・製図③						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	12	設計・製図④						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	13	測量から設計製図したものを現地に設定する①						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	14	測量から設計製図したものを現地に設定する②						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
	15	まとめ・最終課題の提出						配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること（2時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと（2時間）		
成績評価基準	主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出80%、授業の取組（参加姿勢）20%、で評価する。										
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）					
			80		20						
教科書	「やさしい造園図面の描き方」編集 建築資料研究社／建築資料研究社 プリントを配布する						参考書	造園施工管理 技術編／日本公園緑地協会 造園作品集／日本造園学会			
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。										

科目名	コンピュータ実習 I Practice in Computer I							担当者	松本 静香 佐々木一成 実務家教員		
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数	2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	必修
授業の 到達目標	コンピュータの使い方をマスターしポートフォリオを完成することができるようになる。										
授業概要	パーソナルコンピュータを使ったプレゼンテーションの基礎を学びます。社会ではパソコンを使えることは、特別なことではなく、最低限必要な技術となっています。コンピュータ実習 I では、パソコンの使い方やプレゼンテーションの技術を、ポートフォリオの作成と設計演習等のプレゼンテーションを通じて学んでいきます。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	ガイダンス (ログイン・ファイルの保存など)					シラバスに目を通すこと (2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	2	illustrator ①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	3	illustrator ②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	4	illustrator ③					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	5	Photoshop ①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	6	Photoshop ②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	7	Photoshop ③					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	8	地理情報①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	9	地理情報②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	10	CAD 現況平面図入力					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	11	CAD 計画平面図入力					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	12	CAD 標準図作成					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	13	設計図書					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	14	3次元へのアプローチ①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
	15	3次元へのアプローチ②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと (2時間)		
成績評価基準	主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出70%、授業の取組 (参加姿勢) 30%で評価する。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()
					70				30		
教科書	プリントを配布する					参考書	情報活用力 (noa 出版)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。										

科目名	コンピュータ実習 I Practice in Computer I							担当者	松本 静香 佐々木一成 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (後期)	単位数	2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	必修	
授業の 到達目標	コンピュータの使い方をマスターしポートフォリオを完成することができるようになる。											
授業概要	パーソナルコンピュータを使ったプレゼンテーションの基礎を学びます。社会ではパソコンを使えることは、特別なことではなく、最低限必要な技術となっています。コンピュータ実習 I では、パソコンの使い方やプレゼンテーションの技術を、ポートフォリオの作成と設計演習等のプレゼンテーションを通じて学んでいきます。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	CAD 復習 基本操作					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	2	作図したオブジェクトの編集①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	3	作図したオブジェクトの編集②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	4	作図したオブジェクトの編集③					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	5	画層の設定・作成					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	6	CAD 図面への文字の作成					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	7	寸法の設定・作成					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	8	CAD 図面印刷方法					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	9	CAD 図面作成①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	10	CAD 図面作成②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	11	CAD 図面作成③					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	12	建築・土木 CAD 図面応用①					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	13	建築・土木 CAD 図面応用②					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	14	建築・土木 CAD 図面応用③					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	15	情報処理と情報理論					配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
成績評価基準	主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出70%、授業の取組(参加姿勢)30%で評価する。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
					70				30			
教科書	プリントを配布する					参考書		情報活用力 (noa 出版)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。											

科目名	測量学							Survey	担当者	田上 博			
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	造園・ガーデンデザイン・自然環境の仕事につく際に必要となる平板測量や水準測量や角測量など、最低限の知識を身につけることを目標にします。												
授業概要	測量とは、地表・地中・空中など人間の生活領域における所定の位置関係の情報を、要求される精度を考慮しながら処理し、数値や図（地図や図面）で表現することです。 測量学は、造園・林業技術者にとっても国土開発・保全・利用の計画・設計・施工に欠くことが出来ない重要な学問です。関数電卓は必ず必要です。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	測量学の基礎知識						測量学概説について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	2	測量学の基礎知識						事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	3	測量学の基礎知識						事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	4	測量における誤差の取り扱いについて						誤差論について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	5	距離測量について						距離測量について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	6	距離測量における誤差の取り扱い						誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	7	距離測量における誤差の取り扱い						光波測距儀を使った距離測量と誤差について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	8	平板測量について						平板測量の器具、電子平板システムについて熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	9	平板測量について						平板測量の方法について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	10	平板測量について						誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	11	水準測量について						水準測量の用語・分類・使用器械器具等について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	12	水準測量について						水準測量の観測方法について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	13	水準測量について						水準測量の観測誤差と消去方法について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	14	水準測量について						水準測量の誤差調整について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	15	まとめ						事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は試験70%、課題30%とする。												
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	70						30						
教科書	①堤 隆著「測量学Ⅰ」(コロナ社) ②プリントを配布します						参考書	吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	測量学							Survey	担当者	田 上 博			
	開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (後期)	単位数	4	授業 形態	講義	必修・選択 の区分	選択	
授業の 到達目標	造園・ガーデンデザイン・自然環境の仕事につく際に必要となる平板測量や水準測量や角測量など、最低限の知識を身につけることを目標にします。												
授業概要	測量とは、地表・地中・空中など人間の生活領域における所定の位置関係の情報を、要求される精度を考慮しながら処理し、数値や図（地図や図面）で表現することです。 測量学は、造園・林業技術者にとっても国土開発・保全・利用の計画・設計・施工に欠くことが出来ない重要な学問です。関数電卓は必ず必要です。												
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	角測量について							測量で扱う角、角度測定機について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	角測量について							角の観測について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	角測量について							誤差とその取扱いについて熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	閉合トラバース測量							多角測量の種類、手順、観測について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	閉合トラバース測量							各種計算について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	閉合トラバース測量							誤差調整について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	結合トラバース測量							各種計算について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	結合トラバース測量							誤差調整について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	結合トラバース測量							偏心観測について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	求積							面積算定、分割・境界調整について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	求積							体積算定について熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	三角測量							事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	三角測量							事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	三角測量							事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	まとめ							事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は試験70%、課題30%とする。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	70						30						
教科書	①堤 隆著「測量学Ⅰ」(コロナ社) ②プリントを配布します							参考書	吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	測量実習 I						Survey Practicing I		担当者	田 上 博			
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数	2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	選択		
授業の 到達目標	測量機器を使って測量ができるようになること。平板、オートレベル、セオドライトの操作をマスターする。												
授業概要	測量学で学んだことを実際に行うことで、より深く理解するための実習です。測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法を含め、実践的な実習を二丈キャンパスで行います。前期の最後には、環境設計演習で設計する実習用地の測量を行い、総合実習で、設計したものを施工する。関数電卓が必ず必要です。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション 計算基礎						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	2	測量計算について（電卓の使い方を含む）						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	3	距離測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	4	平板測量（平板とアリゲードの取り扱い）						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	5	平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	6	平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	7	平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	8	水準測量（レベルの取り扱い）						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	9	水準測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	10	水準測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	11	水準測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	12	実習用地の平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	13	実習用地の平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	14	実習用地の平板測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	15	まとめ						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	40						30				30		
教科書	①細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) ②プリントを配布します						参考書	吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	測量実習 I							Survey Practicing I		担当者	田 上 博		
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (後期)	単位数	2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	選択		
授業の 到達目標	測量機器を使って測量ができるようになること。平板、オートレベル、セオドライトの操作をマスターする。												
授業概要	測量学で学んだことを実際に行うことで、より深く理解するための実習です。測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法を含め、実践的な実習を二文キャンパスで行います。前期の最後には、環境設計演習で設計する実習用地の測量を行い、総合実習で、設計したものを施工する。関数電卓が必ず必要です。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	セオドライトの取り扱い						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	2	単測法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	3	単測法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	4	単測法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	5	倍角法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	6	倍角法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	7	倍角法						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	8	実技試験						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	9	トラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	10	トラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	11	トラバース計算						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	12	トラバース計算						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	13	製図						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	14	製図						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
15	まとめ						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要				
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	40						30				30		
教科書	①細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) ②プリントを配布します							参考書	吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	緑地計画学 Theory of Open Space and Planning						担当者	久保田 家 且 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	1. 公園の原型から我が国の緑地の整備までの変遷を学び理解する。 2. 緑地の意義及び制度等を理解するとともに、各種緑地の計画と確保手法等を学び理解する。 3. ヒートアイランド現象の緩和やグリーンインフラの問題等都市の環境問題への対応もできる知識を習得する。 以上のことを目標とする。										
授業概要	1. 本講義では、地球規模ではなく地域の良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の場の確保に寄与する緑地の計画を論じる。 2. 人口減少や少子高齢化社会に対応する緑地の将来展望についても論じる。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	2	緑地の変遷Ⅰ					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	3	緑地の変遷Ⅱ					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	4	緑地の定義と機能・効果					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	5	緑地の定義と機能・効果 続き					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	6	緑地制度Ⅰ(規制)					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	7	緑地制度Ⅱ(規制)					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	8	緑地制度Ⅲ(事業)					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	9	緑地制度Ⅲ(事業) 続き					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	10	緑地制度Ⅳ(事業)					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	11	緑地制度Ⅳ(事業) 続き					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	12	緑地制度Ⅴ(誘導・啓発) 緑化啓発の実際					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	13	緑地の現状(現地見学 or 学外講師による講義)					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	14	緑地の将来展望					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	15	まとめ					都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
成績評価基準	筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	60	30			10						
教科書	プリントを配布する。					参考書	「都市緑地の計画と設計」内山正雄(株) 彰国社、「都市緑地の創造」平田富士夫(株) 朝倉書店				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート等は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	エコロジー概論 Introduction to Ecology						担当者	宮島 淳二 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	エコロジーを理解する上で必要な用語の意味を理解し、その用語を使つて的確な文章表現ができるようになる。 実際に造園設計や花壇設計を行う中で、「エコロジー」を意識した設計ができるようになる。										
授業概要	植物などの生物を扱う緑地環境のデザインや管理には生態学の素養が必要である。このため、生物そのものの構造や機能、生物相互の関係や進化の歴史、生物とそれを取り巻く環境を解説し、その上で、過去から現在にかけての人間生活と生物との関係について解説し、最後に、生態学を意識した緑地環境の造成・管理の例として「ビオトープ」について解説する。前職が県庁の林業技術職員であったことから、山村の重要な産業である「林業」という側面を意識して「森林生態学」を解説する。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス 身近な自然に目を向ける力					生態学に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	2	草と木の形と生活					教科書「光を求める」避ける、植物の順化、「土壌シールドバクテリ」の頁に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	3	樹木という生き方・植物の上陸から被子植物の繁栄まで					生態学に関する書籍・ニュース等から予習しておく(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	4	世界の森林・日本の森林					教科書「バイオーム」、「日本のバイオーム」の頁に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	5	植物の分布・暖かさの指数					教科書「バイオーム」、「日本のバイオーム」の頁に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	6	植生遷移・自然林と二次林					教科書「クレンジンツと遷移説」「遷移と遷移説」、「拡大造林がもたらした生態系の不健全化」、「シアゲインクモザイク」の頁に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	7	里山生態系と竹林拡大問題					教科書「氾濫原の自然と水田」、「植物資源の利用管理と生物多様性」の頁に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	8	物質循環とエネルギーの流れ					教科書「窒素が循環する生態系」、「炭素の貯留と循環」、「生態系を流れるエネルギー」に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	9	生物濃縮と江戸の循環型社会					参考書等から予習しておく(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	10	適応・生物間相互作用					教科書「動物の適応への適応」、「共生関係を豊かにした生態系」、「植物と微生物の共生」などに目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	11	松枯れにみられる複雑な共生関係					「樹木医の手引き」など樹木の病害に関する参考書に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	12	生物の多様性と外来生物					教科書「外来種はなぜ強い」、「外来種によるさまざまな影響」に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	13	生物多様性と絶滅危惧種					教科書「絶滅のおそれのある動植物」、「日本での絶滅のおそれの高まり」に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	14	ビオトープとミチゲーション					教科書「生態系修復＝自然再生の先駆け」～「富栄養化と流域における生態系と」に目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
	15	まとめ					教科書、配布資料、ノートなどに目を通しておくこと(2時間)		今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)		
成績評価基準	レポート	期限内に提出し、80%を超える正答率であること。									
	筆記試験	筆記試験のみで評価はできない。レポートの成績と合算して60%以上の得点であること。									
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	60%	40%									
教科書	「絵でわかる生態系のしくみ」 鷲谷いずみ、講談社				参考書		「生態学入門」原口昭編著、生物研究社 「グリーンセイバー—植物と自然の基礎を学ぶ」岩槻那津男監修、研成社、「樹木医の手引き」(財)日本緑化センター				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、回答例を授業で解説する。										

科目名	植物病理学						Plant pathology		担当者	清水 進		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	植物を取り扱う上で必要な、植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法といった病理学の基礎的な知識の習得を目指します。このことにより、植物の病気の診断ができ、より効果的な防除法の選択が可能になる。											
授業概要	植物と病原との相互関係を中心に植物の病気について説明します。また、植物の病気の診断法および植物の病気に対する防御戦略を解説致します。動物と同じように植物にも病気があります。身近な植物の病気を材料に講義を致しますので、積極的に授業に参加して下さい。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	植物の病気と人間生活（1）					植物の健康状態の観察・2時間		今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間			
	2	〃（2）					ジャガイモ疫病・2時間		植物の健康・2時間			
	3	〃（3）					イネいもち病・2時間		ジャガイモ疫病・2時間			
	4	発病とは、病徴と標徴					病徴と標徴・2時間		イネいもち病・2時間			
	5	感染メカニズム、伝染					感染メカニズム・2時間		病徴と標徴・2時間			
	6	病原の種類と特徴（1）					ウイルスとは・2時間		感染メカニズム・2時間			
	7	〃（2）					細菌とは・2時間		ウイルスとは・2時間			
	8	〃（3）					菌類とは・2時間		細菌とは・2時間			
	9	環境条件と病気の発生					環境条件と病気・2時間		菌類とは・2時間			
	10	病気の診断					病気の診断法・2時間		環境条件と病気・2時間			
	11	主な植物の病害と防除法（1）					ウイルス病防除・2時間		病気の診断法・2時間			
	12	〃（2）					細菌病防除・2時間		ウイルス病防除・2時間			
	13	〃（3）					菌類病防除・2時間		細菌病防除・2時間			
	14	まとめ（1）					各種病原の特徴・2時間		菌類病防除・2時間			
15	〃（2）					主な病害の防除法・2時間		各種病原の特徴・2時間				
成績評価基準	植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法の理解度（筆記試験）と授業への取組により評価する。											
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）	
	80%								20%			
教科書	「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター					参考書	「植物病理学」東京化学同人					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	土壌肥料学 Soil Science and Plant Nutrition						担当者	松本幸生 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	植物生育の基盤である土壌の性質や構造を学び、併せて植物の生育を促す肥料に関する知識を身に付ける。										
授業概要	前半で植物の生育基盤である土壌に関する講義を行い、土壌の緑化上の問題点を整理した後、後半でこれを改良するための手段として肥料について講義する。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	土壌のでき方と土壌生成因子					シラバスを熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	土壌層位と識別区分					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	わが国の森林土壌の分類					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	土壌の生物的環境					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	土壌の化学的環境					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	土壌の物理的環境					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	土壌断面調査と土壌診断					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	土壌調査と診断の実際					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	緑化における土壌の問題					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	土壌改良の対象					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	土壌改良の資材					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	植物に必要な養分					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	肥料の種類および性質					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	各要素の欠乏・過剰に対する植物の反応					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
15	まとめ					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
成績評価基準	試験及び授業出席率、受講態度										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
	50								50		
教科書	「最新・樹木医の手引き」 財団法人日本緑化センター					参考書	「土壌肥料用語辞典」農文協				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	質問については、適宜受付。その場で回答します。										

科目名	造園土木材料論 Material of Landscape Architecture and Civil Engineering							担当者	佐々木 一 成		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	造園植物以外の造園及び土木材料の種類や性質等を理解し、造園設計や施工する際に最適な材料を選択できる造園家になるための知識の習得を目標とします。										
授業概要	造園材料の内、造園植物以外を対象として様々な材料を種別ごとに特徴や性質を論じるとともに、写真等を提示しながら、教員および学生同士のコミュニケーションを通じ、造園土木材料に対する興味を高めることを目標とします。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	ガイダンス						シラバスに目を通し、1～15回の関連項目を熟読すること(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	2	土と土壌						教科書「造園施工管理技術編」p153～p156を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	3	土壌改良材						教科書「造園施工管理技術編」p164～p168を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	4	石材						教科書「造園施工管理技術編」p170～p171を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	5	石造添景物等の石材加工品						教科書「造園施工管理技術編」p173～p182を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	6	木材						教科書「造園施工管理技術編」p183～p187を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	7	木材の腐食処理と木造加工品						教科書「造園施工管理技術編」p188～p189を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	8	竹材						教科書「造園施工管理技術編」p191～p192を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	9	金属材料						教科書「造園施工管理技術編」p193～p198を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	10	セメント・コンクリート						教科書「造園施工管理技術編」p199～p208を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	11	コンクリート2次製品						教科書「造園施工管理技術編」p209～p213を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	12	レンガ等窯業系材料						教科書「造園施工管理技術編」p220～p222を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	13	その他材料						教科書「造園施工管理技術編」p214～p220及び、p223～p231を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	14	造園施設に関する材料						教科書「造園施工管理技術編」p235～p440を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
	15	まとめ						今までの授業の内容をノート等熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)	
成績評価基準	主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	80		10		10						
教科書	①「造園施工管理技術編」(日本公園緑地協会造園施工管理委員会編) ②プリントを配布します					参考書	適宜紹介します				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。 授業中にプリント課題を課した場合、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	草花と園芸 Flowers and garden plants							担当者	宮本 淑子 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	近年では、都市のにぎわい作りの装置（背景）として草花が多様され、多くの人々を惹きつけている。それには、多種多様な植物が使われている。その上、園芸植物は、新しい品種が毎年次々と市場に誕生してきている。そこでこの講義では、草花の基本的な性質と、植物が育つ条件など基礎的な知識を身につける。それから、講義内の課題を通して今後、自分のアイデアをまとめ、人に伝えていく力を得るきっかけとなることを目標とする。											
授業概要	木本類以外の草花の特徴や、植物を使うデザインで特筆すべき事を知り、適地適植をモットーに、植物を知っているからこそ、よりよい物作りを行う基礎を知る。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス ここで扱う草花（木本類を除く）について						手持ちの植物図鑑を見ておく		配布資料の復習等（2時間）		
	2	草花の種類とその特徴 1						配布資料の熟読（2時間）		〃		
	3	〃 2						〃		〃		
	4	〃 3						〃		〃		
	5	草花の使い方 植物の特性（場所・スケール）						〃		〃		
	6	〃 〃（デザイン法・色）						〃		〃		
	7	イングリッシュガーデン等の歴史とそこで使用する草花						〃		〃		
	8	ハーブガーデンやキッチンガーデン等で使用する草花の種類と特徴						〃		〃		
	9	身近にある園芸技術、ハカタユリの開花調節等						〃		〃		
	10	天神や都心部での草花の実用例を知る						〃		〃		
	11	花壇設計（図面作成、コンセプト作り）						データの整理、2時間		図面の整理、2時間		
	12	〃（植物調べ、発表準備）						〃		〃		
	13	〃（発表）						〃		〃		
	14	草花の選び方、土、肥料の基礎的なこと						配布資料の熟読		講義の復習、2時間		
15	まとめ（試験）											
成績評価基準	植物の基本的な性質を理解できているかを期末の筆記試験で確認する。											
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（発表）	
	80				10						10	
教科書	プリントを配布する					参考書	最新四季の草花図鑑520 その他適宜紹介する。					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の前におさらいをする。 ・課題については2週間以内にコメントをつけて返却する。 											

科目名	緑地管理実習 I Landscape and Garden Maintenance							担当者	山本 俊光 高宮さやか 実務家教員(高宮)		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	本実習は花と緑の緑地環境の維持管理の視点から、緑地の管理技術・技能を実際の作業を通して学ぶ。時間の制約上、植物の生理生態の基礎の実地と栽培管理、庭園を管理するための基本的実技、花を中心とした彩のある空間管理、植物以外の生き物のための空間管理を学ぶことに力を置く。また総合実習と連携した実習を行うことで効果的に管理の知識と技術を身につけることを目標とする。										
授業概要	二丈キャンパスおよび福浜キャンパス内の剪定、植栽等の年間作業を通して、各季節ごとに必要な維持管理を学ぶ。また学外での生産地見学、公園見学等により維持管理の現場と実際を学び、森林での植生調査により植生を学ぶ。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション						各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間)	安全管理に関する内容を復習する(2時間)		
	2	見学実習						見学予定地について下調べをしておく(2時間)	見学した内容のレポート作成(2時間)		
	3	しゅろ縄・ロープワーク						身近なロープワークの実例をみておく(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
	4	花壇準備						雑草の種名を10種程度調べておく(2時間)	除草した雑草の特徴をまとめる(2時間)		
	5	草花園芸						使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間)	使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)		
	6	間伐・林内管理						植林に使われる樹種を調べておく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)		
	7	挿し木・増殖工						園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
	8	剪定・刈込						身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
	9	病虫害防除						身近な樹木の病徴を観察しておくこと(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
	10	技能検定						課題の仕様書を熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)		
	11	挿し木の鉢上げ						園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
	12	技能検定						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)		
	13	技能検定						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)		
	14	技能検定						課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)		
	15	技能検定						最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間)	授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)		
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
			30%				20%		50%		
教科書	なし						参考書	①厚生労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行「造園施工必携」②花業会編集・講談社発行『フラワーランドスケーピング』			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。										

科目名	緑地管理実習Ⅱ Landscape and Garden Maintenance							担当者		山本 俊光 高宮さやか 実務家教員(高宮)				
	開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	本実習は花と緑の緑地環境の維持管理の視点から緑地の管理技術・技能を実際の作業を通して学ぶ。時間の制約上、植物の生理生態の基礎の実地と栽培管理、庭園を管理するための基本的実技、花を中心とした彩のある空間管理、植物以外の生き物のための空間管理を学ぶことに力点を置く。また総合実習と連携した実習を行うことで効果的に管理の知識と技術を身につけることを目標とする。													
授業概要	二丈キャンパスおよび福浜キャンパス内の剪定、植栽等の年間作業を通して、各季節ごとに必要な維持管理を学ぶ。また学外での生産地見学、公園見学等により維持管理の現場と実際を学び、森林での植生調査により植生を学ぶ。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	花壇整備						雑草の種名を10種程度調べておく(2時間)		除草した雑草の特徴をまとめる(2時間)				
	2	見学実習						見学予定地について下調べをしておく(2時間)		見学した内容のレポート作成(2時間)				
	3	見学実習						見学予定地について下調べをしておく(2時間)		見学した内容のレポート作成(2時間)				
	4	草花園芸						使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間)		使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)				
	5	移植						樹木の根系について調べておく(2時間)		掘った根の写真を他種と比較する(2時間)				
	6	マツの手入れ(古葉落とし、剪定)						自然樹形のマツと仕立物のマツを観察しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	7	病虫害防除						身近な樹木の病徴を観察する(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
	8	小空間の造形(施工)						今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	9	小空間の造形(施工)						使用する材料の特性を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	10	小空間の造形(施工)						使用する材料の特性を調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	11	小空間の造形(施工)						構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	12	小空間の造形(施工)						庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	13	小空間の造形(施工)						庭園によく使われる樹種を調べる(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	14	小空間の造形(施工)						出来上がった空間の維持管理を推測する(2時間)		授業で学んだ内容の復習(2時間)				
	15	小空間の造形(施工)						計画と竣工を比較し変更箇所を確認しておく(2時間)		授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)				
成績評価基準	受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
				30%						20%		50%		
教科書	なし						参考書		①厚生労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』②花業会編集・講談社発行『フラワーランドスケーピング』					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートを添削し2週間以内に返却する。													

科目名	フラワーデザイン基礎 Flower Design Basic							担当者	野口 静香 実務家教員		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	植物のもつ本来の美しさを様々な素材を使用し教科書の作品例を模倣したり目でみて触れて工夫する中でフラワーデザインの基礎知識を学習しマスターします。15回作品を作っていく事でそれぞれの個性がうまれ完成度の高いステキな作品に仕上がっていくようになります。										
授業概要	季節・四季を大切に行事、使用花材・資材の必要性を説明しながらたくさんの作品を作り植物を好きになる授業です。(花材費別途必要です)										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	初めて花に触れる簡単基礎アレンジメント					シラバスを熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	リボン、ワイヤー等資材を使って仕上げるアレンジメントフラワーケーキ					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	母の日ギフトアレンジメント(造花を使ってアーティフィシャル)					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	母の日ギフトアレンジメント(生花を使って)					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	父の日ギフトアレンジメント					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	ブライダルについてブライダルギフト					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	ブライダル簡単ブーケ、ブートニア					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	ブライダルディスプレイ					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	スパイラルの花束					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	パターン違いの花束					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	ドーム型アレンジメント					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	サマーギフトアレンジメント					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	サマーオブジェ、オーナメント					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	様々なグリーンだけで作る花束					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	ドライフラワーを使ってハーバリウム					教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、個性、感性、作る姿勢等の総合評価とします。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
							40		60		
教科書	フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)(講談社)、社団法人日本フラワーデザイナー協会					参考書	なし				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題作品の講評や解説の時間を設ける。										

科目名	学外研修							Field Trip		担当者	西川真水		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	①研修計画を立案する。 ②実際に研修で訪れる、都市や造園・ランドスケープの空間について、事前に調べ、資料を準備する。 ③研修計画に基づいて実際に空間を訪れ、本物の空間を感じ、記録する。 ④計画、資料、研修の記録をもとに報告ポスター（A1サイズ）を制作する。												
授業概要	造園、園芸、自然環境に関わる技術・知識を習得する上で、「本物」の上質な空間や「多様」な環境を理論的に机上で学ぶだけでは、技術者、デザイナーとしては十分であるとは言えません。そこで、実際に歴史に名を残す名園、最新技術を活用し形成された都市環境・空間を訪れ、実際にその空間をデザイン、施工、管理するプロフェッショナルの話を聞き、実際の空間を感じ、伝統的な造園空間から現代のランドスケープまで空間の見方・作法の習得、自らのキャリアにフィードバックすることを目的に宿泊を含む学外での研修を行う。また多くの空間を見学・記録することで、今後の造園・ランドスケープ空間の計画・設計・施工・管理にかかわる資料の作成も行う。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	ガイダンス						造園史のノートを熟読し、振り返っておく		ノートを整理しておく			
	2	テーマの設定と研修計画作成						班メンバーと京都の町並みについて調べておく		研修計画書の修正			
	3	研修計画の作成						班メンバーとテーマに沿った庭園を調べておく		研修先の資料の収集			
	4	直前研修1：概要・総論						造園史のノートを熟読し、振り返っておく		ノート・メモの整理			
	5	直前研修2：各論						配布資料を熟読しておく		ノート・メモの整理			
	6	直前研修3：各論と研修内容の発表						研修資料の作成		資料の収集			
	7	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	8	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	9	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	10	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	11	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	12	研修						作成した研修資料を熟読しておく		メモ・ノート・写真の整理			
	13	調査資料の整理・パネル作成						レイアウト概要の作成をしておく		レイアウトの指摘点の修正			
	14	調査資料の整理・パネル作成						レイアウト概要の作成をしておく		レイアウトの指摘点の修正			
15	報告書の作成						レイアウト概要の作成をしておく		レイアウトの指摘点の修正				
成績評価基準	研修への取り組み・参加態度（30%）、事前研修で作成する研修計画、および研修後に製作する報告ポスターを評価（70%）を基準に、到達目標の達成度を総合的に評価する。												
成績評価方法（割合）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（研修計画・テーマパネル）		
									30%		70%		
教科書	プリントを配布する						参考書		進士五十八／日本庭園造景の技とところ／中公新書				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	研修計画はミーティングごとにチェックし、講評を行う。 提出された報告ポスターは、一次提出時に問題点などコメントをつけて返却するので、それを参考に最終提出とする。最終提出されたポスターは出力し学びの発表会で展示し講評を行う。												

科目名	企業実習 Practical Training of Business							担当者	佐々木 一成		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	企業実習を通じてキャリアデザインを明確にすることができる。										
授業概要	①実務を通じて造園・園芸・自然環境など緑地技術・技能・知識のレベルアップにつなげる。 ②最新の業界の知識を習得する。 ③企業理念、企業の実践的な考え方と仕事の進め方を習得する。 ④社会人としての心構えおよびビジネスマナーを習得する。 ⑤就職活動の一環等を目的に造園・ガーデン・エクステリアの設計・施工・管理運営・園芸栽培・販売など、造園・園芸・自然環境に関連する分野での実習を行う。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	事前研修・安全教育						企業研究をすること (1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	2	企業との打ち合わせ						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	3	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	4	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	5	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	6	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	7	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	8	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	9	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	10	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	11	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	12	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	13	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	14	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
	15	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)		
成績評価基準	評価は研修先の受け入れ担当者の評価(実習評価表)と実習報告書、実習日報をもとに担当教員が学則27条の規定に基づいて評価を行う。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
											100
教科書	使用しない					参考書	「短大生の就活編」 株式会社ディスコ				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	実習報告書、実習日報は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	環境ボランティア演習 Environmental and Landscape Volunteer practice							担当者	佐々木 一 成 大 石 道 義		
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (前期)	単位数	1	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	選択
授業の 到達目標	①日々学んでいることを社会に還元するとともに、学び甲斐や更なる向学心・社会職責観を涵養する。 ②二丈キャンパス（緑地環境学科実習場）の豊かなみどり資源を自身の学びの深化につながるボランティア活動を通じて、地域社会に活かすことに努め、併せて二丈キャンパス（緑地環境学科実習場）の活性化につなぐ。 ③コミュニケーション能力や社会性・積極的行動力を涵養する。 ④新聞等を注意深く閲覧し、「環境・福祉・教育・文化・保健」等の社会的課題に常々、視点を向けておくこと。										
授業概要	二丈キャンパス園芸福祉ツアー、商店街活性化をも企図した唐人町アーケードでの「エコ&みどりの体験」教室開催、鴻巣山里山管理ボランティア、海岸における植林・間伐等に参加する。基本的に時間制授業ではなく、かつ学外授業が多く、土・日や夏休み等に行う。尚、ポイント制に基づく選択受講です。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	総合ガイダンス						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	2	ボランティア概論						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	3	環境ボランティア概論						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	4	第1回二丈キャンパス園芸福祉ツアー① (検討・企画・準備)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	5	第1回二丈キャンパス園芸福祉ツアー② (実施・まとめ)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	6	小学校クラス環境学習教材としてのムクロジ果実の希望学校等への配送①(検討・企画・準備)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	7	小学校クラス環境学習教材としてのムクロジ果実の希望学校等への配送②(実施・まとめ)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	8	鴻巣山里山管理ボランティア①						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	9	鴻巣山里山管理ボランティア②						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	10	特別造園緑化ボランティア演習①(検討・企画・準備)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	11	特別造園緑化ボランティア演習②(実施・まとめ)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	12	国体道路花壇デザイン植栽①(検討・企画)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	13	国体道路花壇デザイン植栽②(準備)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	14	国体道路花壇デザイン植栽③(実施・まとめ)						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
	15	日本庭園再生ボランティア						ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)	
成績評価基準	授業の取組50%、レポート50%で評価する。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
			50						50		
教科書	使用しない					参考書	「ボランティア時代のみどりのまちづくり」 (進士五十八著)東京農業大学出版会				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 レポートの返却は、環境ボランティア演習まとめ時間にコメントをつけて返却する。										

科目名	環境ボランティア演習 Environmental and Landscape Volunteer practice							担当者	佐々木 一成 大石 道義		
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年 (後期)	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	①日々学んでいることを社会に還元するとともに、学び甲斐や更なる向学心・社会職責観を涵養する。 ②二丈キャンパス（緑地環境学科実習場）の豊かなみどり資源を自身の学びの深化につながるボランティア活動を通じて、地域社会に活かすことに努め、併せて二丈キャンパス（緑地環境学科実習場）の活性化につなぐ。 ③コミュニケーション能力や社会性・積極的行動力を涵養する。 ④新聞等を注意深く閲覧し、「環境・福祉・教育・文化・保健」等の社会的課題に常々、視点を向けておくこと。										
授業概要	二丈キャンパス園芸福祉ツアー、商店街活性化をも企図した唐人町アーケードでの「エコ&みどりの体験」教室開催、鴻巣山山管理ボランティア、海岸における植林・間伐等を参加する。基本的に時間割授業ではなく、かつ学外授業が多く、土・日や夏休み等に行う。尚、ポイント制に基づく選択受講です。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	公園イベント①一人一花サミット参画 (検討・企画・準備)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	2	公園イベント②一人一花サミット参画(実施・まとめ)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	3	海岸林間伐①(検討・企画・準備)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	4	海岸林間伐②(実施・まとめ)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	5	第2回二丈キャンパス園芸福祉ツアー① (検討・企画・準備)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	6	第2回二丈キャンパス園芸福祉ツアー② (実施・まとめ)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	7	鴻巣山山管理ボランティア③						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	8	鴻巣山山管理ボランティア④						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	9	エコ&みどりの体験教室(検討・企画・実施)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	10	唐人町商店街「クリスマスリースづくり」① (検討・企画・準備)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	11	唐人町商店街「クリスマスリースづくり」② (実施・まとめ)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	12	正月伝統行事「どんと焼き」参画 (竹笹類調達、独楽・葉っぱ書き初め他)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	13	海岸林植林①(検討・企画・準備)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	14	海岸林植林②(実施・まとめ)						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
	15	まとめ						ボランティアやエコツアーリズムに関連する書籍を熟読しておくこと。(1時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)		
成績評価基準	授業の取組50%、レポート50%で評価する。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
		50			50						
教科書	使用しない			参考書	「ボランティア時代のみどりのまちづくり」 (進士五十八著) 東京農業大学出版会						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 レポートの返却は、環境ボランティア演習まとめ時間にコメントをつけて返却する。										

科目名	ビオトープ演習 Exercises in Biotope							担当者	岩 熊 志 保 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	広域的な地域計画のプランナーなどを担当する「2級ビオトープ計画管理士」試験の合格を目指して開講すると同時に、ビオトープに関連した横断的な知識を身につけることを目標とする。											
授業概要	ビオトープ (BIOTOP) とは、地域の野生の生きものたち (BIO) が生息する空間 (TOP) を意味します。残されたビオトープを守り失われたビオトープを取り戻す、そして、そこで育まれる健全な生物の多様性を守り回復させる必要があります。それを行うのが「ビオトープ管理士」です。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	ビオトープとは					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	2	生態系について					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	3	ビオトープの定義と現状					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	4	ビオトープ保全について					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	5	外来生物について					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	6	環境関連法規					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	7	種の保存・保全・防除に関する法律					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	8	中間試験					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	9	自然保護・管理に関する法律					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	10	環境関連条約					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	11	ビオトープ計画について					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	12	野生生物調査について					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	13	地域計画などにおける生態系保全					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
	14	ビオトープ管理士計画部門対策					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間				
15	まとめ					過去問を解く2時間	その日の授業内容を見直す2時間					
成績評価基準	演習の課題と、中間試験で評価します。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()	
	50%				50%							
教科書	ビオトープ管理士資格試験公式テキスト 配布プリント					参考書						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ワーク課題は、次の日にコメントをつけて返却する。											

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	大石道義			
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	必修	
授業の 到達目標	1. 造園家・社会人として人生を歩んでいく心構え・地歩ができるようになること。 2. 造園学的なもののみかた・考え方・価値観、造園家としてふさわしい豊かな感性・社会的職責観・積極的創造力がもてるようになること。 3. 日本の伝統文化、文化財の保存活用、地域づくり等において社会貢献できるようになること。											
授業概要	1. 二大キャンパスの樹木ラベル設営 2. 唐人町・福浜地区における環境福祉造園活動 3. 学外での社会提案的な造園計画等の活動 4. 環境教育・環境福祉の理念とプログラム 5. 日本の伝統文化・季節行事 6. 文化財の保存活用・地域づくり 7. 日本庭園の基礎											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	ガイダンス（ゼミのコンセプト）、「花見ガーデン（唐人町、福浜、以下同様）」							予告の指定テキストページ或いは配布プリント/2時間	指定様式用紙の授業日報等でのまとめ位/2時間		
	2	活動の構想・計画、OB活動の検証							〃 / 〃	〃 / 〃		
	3	日本の伝統的季節行事・節季、「鯉のぼりガーデン」							〃 / 〃	〃 / 〃		
	4	庭園の創作・管理の構想計画（唐人町・福浜・百道・図書館内）、二大ツアー							〃 / 〃	〃 / 〃		
	5	二大キャンパス樹木ラベル設営調査計画開始							〃 / 〃	〃 / 〃		
	6	唱歌・絵手紙・俳句、OB作二大キャンパス内庭園の検証と管理							〃 / 〃	〃 / 〃		
	7	「野外ミュージアムINハーブ園」基本計画、「アジサイガーデン」							〃 / 〃	〃 / 〃		
	8	「樹木楽習/もりもり森の森」基本計画							〃 / 〃	〃 / 〃		
	9	「化石の杜」基本計画、「七タガーデン」							〃 / 〃	〃 / 〃		
	10	小学校へへの出前「エコ&みどりの体験」授業							〃 / 〃	〃 / 〃		
	11	樹木ラベル設営							〃 / 〃	〃 / 〃		
	12	〃							〃 / 〃	〃 / 〃		
	13	〃							〃 / 〃	〃 / 〃		
	14	文化財の保存活用							〃 / 〃	〃 / 〃		
	15	古木調査							〃 / 〃	〃 / 〃		
成績評価基準	(到達目標1、2、3共通)・90~100 極めて達成 ・60~69 まあ達成 ・80~89 かなり達成 ・59以下 達成できていない ・70~79 普通に達成											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組	その他()
				20			20		30		30	
教科書	・「ボランティア時代のみどりのまちづくり」進士五十八、東京農業大学出版会 ・「日本の庭園」進士五十八、中央公論出版社							参考書	・「進士五十八の風景美学」進士五十八、マルマ出版			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	・ゼミ活動日報（ゼミ活動のまとめ・記録）の提出と一週間内チェック返却も含むコミュニケーションで確認し合う。											

科目名	ゼミナール							Seminar		担当者	大石道義							
開講年度	2020	学年	2	開講期		通年(後期)		単位数	4	授業形態		演習		必修・選択の区分		必修		
授業の到達目標	1. 造園家・社会人として人生を歩んでいく心構え・地歩ができるようになること。 2. 造園学的なもののみかた・考え方・価値観、造園家としてふさわしい豊かな感性・社会的職責観・積極的創造力がもてるようになること。 3. 日本の伝統文化、文化財の保存活用、地域づくり等において社会貢献できるようになること。																	
授業概要	1. 二大キャンパスの樹木ラベル設営 2. 唐人町・福浜地区における環境福祉造園活動 3. 学外での社会提案的な造園計画等の活動 4. 環境教育・環境福祉の理念とプログラム 5. 日本の伝統文化・季節行事 6. 文化財の保存活用・地域づくり 7. 日本庭園の基礎																	
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間			復習内容・時間							
	1	後期ガイダンス、樹木ラベル設営準備							予告の指定テキストページ、 或いは配布プリント/2時間			/ 2時間						
	2	OB 作二大キャンパス庭園の検証と管理（樹木ラベル設営）							〃 / 〃			/ 〃						
	3	「ホークスV祈願ガーデン」制作							〃 / 〃			/ 〃						
	4	生産的緑化研修（高速道路路面植栽植の実収穫実習）							〃 / 〃			/ 〃						
	5	「秋の感謝祭」参画への準備、1人1花サミットへの参画							〃 / 〃			/ 〃						
	6	「秋の感謝祭」参画							〃 / 〃			/ 〃						
	7	「ありがとうホークスガーデン」制作							〃 / 〃			/ 〃						
	8	二大ツアー準備、リース材調達準備							〃 / 〃			/ 〃						
	9	二大ツアー参画							〃 / 〃			/ 〃						
	10	「クリスマス駅ガーデン」制作							〃 / 〃			/ 〃						
	11	唐人町リース創り教室参画、福祉プラザ福祉まつり参画							〃 / 〃			/ 〃						
	12	福岡市子ども病院リース設営、どんと焼き・正月ガーデンの準備							〃 / 〃			/ 〃						
	13	「お正月平安ガーデン」制作							〃 / 〃			/ 〃						
	14	福浜校区「どんと焼き」参画、節分ガーデン準備							〃 / 〃			/ 〃						
	15	「節分ガーデン」制作、まとめ							〃 / 〃			/ 〃						
成績評価基準	（到達目標 1、2、3 共通）・90～100 極めて達成 ・60～69 まあ達成 ・80～89 かなり達成 ・59以下 達成できていない ・70～79 普通に達成																	
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技			授業の取組			その他()		
				20			20			30			30					
教科書	・「ボランティア時代のみどりのまちづくり」進士五十八、東京農業大学出版会 ・「日本の庭園」進士五十八、中央公論出版社							参考書	・「進士五十八の風景美学」進士五十八、マルマ出版									
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	・ゼミ活動日報（ゼミ活動のまとめ・記録）の提出と一週間内チェック返却も含むコミュニケーションで確認し合う。																	

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	西川真水		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	①社会的な課題をとらえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。 ②手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。 ③illustratorなどのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。 ④勉強会の企画・参加、空間制作などとおし様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う。										
授業概要	1. ランドスケープデザイン／社会・人間との関係の在り方、2. モノづくりからコトづくりへ／コトとしてのデザインの在り方、3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション					自分の課題などをノートに整理しておく	ディスカッションした内容をノートに整理する			
	2	企業見学1：デザインの現場を訪ねる					企業について調べ、質問などを考える	写真、メモの整理			
	3	企業見学2：デザインと施工の現場を訪ねる					企業について調べ、質問などを考える	写真、メモの整理			
	4	リサーチの方法と分析					事前配布された資料を確認しておく	データを整理			
	5	リサーチの方法と分析					配布資料を確認しておく	データを整理			
	6	ポートフォリオの制作1					ノート・メモ・写真の記録を整理しておく	目次の作成と確認			
	7	デザイン1					指定された課題のエスキスの作成	エスキスの修正、問題点の整理を行う			
	8	空間施工1					施工方法・施工計画の確認をしておく	施工写真と問題点の整理			
	9	空間施工2					施工方法・施工計画の確認をしておく	施工写真と問題点の整理			
	10	デザイン2					指定された課題のエスキスの作成	エスキスの修正、問題点の整理を行う			
	11	デザイン3					指定された課題のエスキスの作成	エスキスの修正、問題点の整理を行う			
	12	植物の栽培と管理					植物の名前を調べておく	写真の整理			
	13	植物の栽培と管理					植物の特性を調べておく	写真の整理			
	14	空間施工3					施工方法・施工計画の確認をしておく	問題点の整理			
15	空間施工4					施工方法・施工計画の確認をしておく	問題点の整理				
成績評価基準	ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標①～④に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他(作品成果品・発表)					
					30%	70%					
教科書	プリントを配布する					参考書	ランドスケープデザインの視座／宮城俊作／学芸出版社				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。										

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	西川真水								
開講年度	2020	学年	2	開講期		通年(後期)		単位数	4	授業形態		演習		必修・選択の区分		必修	
授業の到達目標	①社会的な課題ををとりえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。 ②手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。 ③ illustrator などのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。 ④勉強会の企画・参加、空間制作などをおし、様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う。																
授業概要	1. ランドスケープデザイン／社会・人間との関係の在り方、2. モノづくりからコトづくりへ／コトとしてのデザインの在り方、3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。																
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間			復習内容・時間						
	1	生産地見学						インターネットなどで生産地の特性などを調べておく			写真、メモなどを整理しておく						
	2	素材のリサーチ						インターネットなどで指定された素材について調べておく			写真、問題点の整理						
	3	素材のリサーチ						インターネットなどで指定された素材について調べておく			写真・資料の整理						
	4	デザイン 4						指定された課題のエスキスの作成			エスキスの修正、問題点の整理を行う						
	5	デザイン 5						指定された課題のエスキスの作成			エスキスの修正、問題点の整理を行う						
	6	デザイン 6						設計図書の作成			問題点の整理						
	7	デザイン 7						設計図書の作成			問題点の整理						
	8	空間施工 5						施工方法・施工計画の確認をしておく			問題点の整理						
	9	空間施工 6						施工方法・施工計画の確認をしておく			問題点の整理						
	10	プレゼンテーション						過去のデータの確認			問題点の整理						
	11	プレゼンテーション						パワーポイント・illustrator のデータの作成			指摘された問題点の修正						
	12	プレゼンテーション						発表の準備			問題点の整理						
	13	報告書とプレゼンテーション資料制作						ノート・メモ・写真の記録を整理しておく			問題点の修正						
	14	報告書とプレゼンテーション資料制作						ノート・メモ・写真の記録を整理しておく			問題点の修正						
15	ポートフォリオの制作 2						図面・エスキス・写真・記録などの整理			レイアウトの問題点の修正							
成績評価基準	ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標①～④に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。																
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技			授業の取組		その他(作品成果品、発表)		
													30%		70%		
教科書	プリントを配布する							参考書	ランドスケープデザインの視座／宮城俊作／学芸出版社								
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。																

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	宮島 淳二 実務家教員		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	2	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	必修
授業の 到達目標	チョウ類及び植生調査を通じて、自然環境を評価する手法を身に付け、緑地環境の現場において環境評価をする際、この手法を応用できるようになる。										
授業概要	昆虫調査の方法や標本の作り方について学び、昆虫によって環境評価を行った文献を学ぶ。これを基礎に、身近にある西公園において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに植生調査を行い、チョウ相の季節変化や環境評価に取り組む。その結果を学びの発表会で発表する。前職が県庁の林業技術職員（研究職）であったことから、森林調査及び取りまとめ方については、長年の経験を生かして、現場で適宜、指導する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	ガイダンス					シラバスを熟読しておく（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	2	造林学講義及びテーマの検討					図書館やインターネット等を読んで予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	3	第1回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	4	第1回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	5	第2回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	6	第2回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	7	第3回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	8	第3回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	9	第4回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	10	第4回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	11	第5回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	12	第5回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	13	第6回現地調査（チョウ類調査）					配布した資料でチョウ類について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	14	第6回現地調査（植生調査）					配布した資料で植生調査法について予習しておくこと（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
	15	ゼミナール中間発表					中間発表に向けて発表内容を確認する。（1時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（1時間）		
成績評価基準	授業の取組み		教室での授業、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか観察して判断する。								
	課題		役割分担したデータ整理や発表原稿の内容を見て判断する。								
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
					50%				50%		
教科書	特になし。必要に応じて資料を配付する。					参考書		「昆虫の図鑑採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	現地での調査では、調査に同行して、学生と直接対話しながら、質問・説明を行って調査技術向上を図る。持ち帰った資料やデータは、研究室にて研究ノートに記録するとともに、採集した一部のチョウ類は展翅標本作製する。										

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	宮島 淳二 実務家教員								
開講年度	2020	学年	2	開講期		通年(後期)		単位数	2	授業形態		演習		必修・選択の区分		必修	
授業の到達目標	チョウ類及び植生調査を通じて、自然環境を評価する手法を身に付け、緑地環境の現場において環境評価をする際、この手法を応用できるようになる。																
授業概要	昆虫調査の方法や標本の作り方について学び、昆虫によって環境評価を行った文献を学ぶ。これを基礎に、身近にある西公園において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに植生調査を行い、チョウ相の季節変化や環境評価に取り組む。その結果を学びの発表会で発表する。前職が県庁の林業技術職員(研究職)であったことから、森林調査及び取りまとめ方については、長年の経験を生かして、現場で適宜、指導する。																
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間			復習内容・時間						
	1	第7回現地調査(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	2	文献収集と講読						収集した文献について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	3	第8回現地調査(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	4	文献収集と講読						収集した文献について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	5	第9回現地調査(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	6	文献収集と講読						収集した文献について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	7	第10回現地(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	8	データ取りまとめ						データの取りまとめ方を文献などで事前に調べておく(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	9	第11回現地調査(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	10	データ取りまとめ						データの取りまとめ方を文献などで事前に調べておく(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	11	第12回現地調査(チョウ類調査)						配布した資料でチョウ類について予習しておくこと(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	12	発表準備						収集した文献を参考にまとめ方を検討する。(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	13	発表準備						作成した原稿の内容を確認と修正(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	14	発表準備						作成した原稿の内容を確認と修正(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
	15	ゼミナール発表						発表に向けて発表内容を確認する(1時間)			今回学んだ授業内容を復習しておく(1時間)						
成績評価基準	授業の取組み		教室での授業、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか観察して判断する。														
	課題		役割分担したデータ整理や発表原稿の内容を見て判断する。														
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		50%		実技		授業の取組		50%		その他()		
教科書	特になし。必要に応じて資料を配付する。						参考書		「昆虫の図鑑採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版								
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	現地での調査では、調査に同行して、学生と直接対話しながら、質問・説明を行って調査技術向上を図る。関連する論文を収集・講読して調査のまとめ方を学ぶとともに、森林学会や学内発表用に原稿を作成させ、適宜、修正させる。																

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	高宮 さやか 実務家教員		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。 古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。										
授業概要	本ゼミナールでは、庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、①日本最古の作庭書である『作庭記』のほか適宜、文献講読 ②研究課題に沿って調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 ③文化財庭園の維持管理作業への参加 ④維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 ②③④の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	『作庭記』講読、解説 庭園見学					『作庭記』成立について調べておく(2時間)	見学した庭園のレポート作成(2時間)			
	2	『作庭記』講読、解説 研究課題の検討					研究課題の検討(2時間)	指摘事項について考察・解決(2時間)			
	3	『作庭記』講読、解説 研究課題の発表、討論					研究課題の資料検索(2時間)	指摘事項について考察・解決(2時間)			
	4	『作庭記』講読、解説 研究課題の発表、計画策定					研究課題の内容洗い出し(2時間)	指摘事項について考察・解決(2時間)			
	5	資料収集・調査・設計					研究課題の内容洗い出し(2時間)	指摘事項の整理・解決(2時間)			
	6	資料収集・調査・設計					先行研究や文献資料の検索(2時間)	指摘事項の整理・解決(2時間)			
	7	資料収集・調査・設計・施工計画					先行研究や文献資料の検索(2時間)	指摘事項の整理・解決(2時間)			
	8	調査・設計・施工					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	9	調査・設計・施工					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	10	調査・設計・施工					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	11	調査・設計・施工・提案書作成					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	12	作業班中間発表・討議					中間発表の準備(2時間)	指摘事項の整理・解決(2時間)			
	13	調査・設計・施工・提案書作成					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	14	調査・設計・施工・提案書作成					作業の準備(2時間)	進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
15	中間まとめ					中間発表の準備(2時間)	指摘事項の整理・解決(2時間)				
成績評価基準	演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。 発表への取組態度とその表現力も評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
					40%				50%		10%
教科書	小笠雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸出版社					参考書	(一財)日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	添削して1週間以内に返却する。										

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	高宮 さやか 実務家教員				
	開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (後期)	単位数		4	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	必修
授業の到達目標	日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。 古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。												
授業概要	本ゼミナールでは、庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、①日本最古の作庭書である『作庭記』のほか適宜、文献講読 ②研究課題に沿って調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 ③文化財庭園の維持管理作業への参加 ④維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 ②③④の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	調査・設計・施工・提案書作成						作業の準備(2時間)		進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	2	調査・設計・施工・提案書作成						作業の準備(2時間)		進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)			
	3	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ						作業の準備(2時間)		問題点の解決(2時間)			
	4	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ						作業の準備(2時間)		問題点の解決(2時間)			
	5	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ						作業の準備(2時間)		問題点の解決(2時間)			
	6	正午の茶事						写真集等で露地の使い方を調べておく(2時間)		本日の体験をレポートにする(2時間)			
	7	庭園・緑地の樹木保全技術						作業の準備(2時間)		データの整理(2時間)			
	8	庭園・緑地の樹木保全技術						作業の準備(2時間)		データの整理(2時間)			
	9	庭園・緑地の樹木保全技術						作業の準備(2時間)		データの整理(2時間)			
	10	文化財庭園の維持管理						現地確認と道具の準備(2時間)		写真整理(2時間)			
	11	文化財庭園の維持管理						道具の準備(2時間)		写真整理とレポート作成(2時間)			
	12	文化財庭園の維持管理						道具の準備(2時間)		写真整理とレポート作成(2時間)			
	13	文化財庭園の維持管理についての討議・提案・意見集約						作業した内容を振り返っておく(2時間)		意見集約(2時間)			
	14	まとめ 発表準備						最終発表の準備(2時間)		指摘事項の解決(2時間)			
15	まとめ 発表準備						最終発表の準備(2時間)		指摘事項の解決(2時間)				
成績評価基準	演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。 発表への取組態度とその表現力も評価する。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他(発表)
							40%				50%		10%
教科書	小笠雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸出版社						参考書		(一財)日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	添削して1週間以内に返却する。												

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	大田 香代子 実務家教員		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	4	授業 形態	演習	必修・選択 の区分	必修
授業の 到達目標	花卉園芸全般に及ぶ植物の育成と、それを取り入れたデザインの計画、設計、施工及び管理を学び、実践する。また、園芸を通して人と人とを繋ぐ空間デザインやプログラムの立案にリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指す。 環境への配慮と文化の発展とのバランスを取りながら、様々な提案が出来る人材の育成を目的とする。										
授業概要	<input type="checkbox"/> 草花、花卉全般にわたる知識と管理技術の習得 <input type="checkbox"/> 学外等におけるコンテスト出品、資格取得、コミュニティづくりの知識の習得 <input type="checkbox"/> 環境に負荷を与えない花卉園芸技術と植栽技術の習得と普及										
授業計画	授業のテーマ				予習内容・時間			復習内容・時間			
	1	オリエンテーションと年間計画			各自の研究目標の設定・2時間			年間計画の確認と計画表の作成・2時間			
	2	コンテスト作品制作			コンセプト設定・2時間			工程表の作成・2時間			
	3	学外実習			コンテスト作品の作成・3時間			作品制作の振り返り・2時間			
	4	植物の育成と管理1			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	5	植物の育成と管理2			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	6	花壇制作とコミュニケーション			施行の準備：2時間			振り返り：2時間			
	7	研究発表準備（ポートフォリオ作成）			ポートフォリオ(PF)の制作：2時間			PF修正：2時間			
	8	植物の育成と管理3			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	9	植物の育成と管理4			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	10	植物の育成と管理5			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	11	管理実習			植生図面の確認：1時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	12	植物の育成と管理6			植物図鑑の作成・2時間			写真整理、PFの制作・2時間			
	13	中間発表準備			パワーポイント作成準備・2時間			写真整理、パワーポイント修正：2時間			
	14	中間発表準備			パワーポイント作成準備・2時間			写真整理、パワーポイント修正：2時間			
	15	前期まとめとプレゼンテーション			発表準備：3時間			振り返り・2時間			
成績評価基準	授業における、計画、施行、プレゼンテーションの過程を通してそれぞれの取り組みに配分した評価点を設定する。 また、個々の研究および取り組みに関するの評価、社会活動等を加味し総合的に評価する。例えば、学習の振り返りとしてのポートフォリオの作成や植物のリストをまとめる植物図鑑の作製など、										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(作品制作)
					30%				40%		30%
教科書	特になし。必要に応じてプリントや参考文献として提示					参考書	ガーデンデザイン入門 造園施行必携				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	個々の研究および取り組みに関するのチェックとサポート、また社会活動等の参加などのサポート、提案。学習の振り返りとしてのポートフォリオの作成や植物のリストをまとめる植物図鑑の作製などを繰り返し提出しチェックする。										

科目名	ゼミナール Seminar							担当者	大田 香代子 実務家教員															
開講年度	2020	学年	2	開講期		通年(後期)		単位数	4	授業形態		演習		必修・選択の区分		必修								
授業の到達目標	花卉園芸全般に及ぶ植物の育成と、それを取り入れたデザインの計画、設計、施工及び管理を学び、実践する。また、園芸を通して人と人とを繋ぐ空間デザインやプログラムの立案にリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指す。 環境への配慮と文化の発展とのバランスを取りながら、様々な提案が出来る人材の育成を目的とする。																							
授業概要	<input type="checkbox"/> 草花、花卉全般にわたる知識と管理技術の習得 <input type="checkbox"/> 学外等におけるコンテスト出品、資格取得、コミュニティづくりの知識の習得 <input type="checkbox"/> 環境に負荷を与えない花卉園芸技術と植栽技術の習得と普及																							
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間				復習内容・時間											
	1	植物の育成と管理 7							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	2	学外実習の企画							コンセプト設定・2時間				図面修正、工程表の作成・2時間											
	3	学外実習							施行準備：2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	4	植物の育成と管理 8							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	5	感謝祭発表準備							プレゼンテーションボード制作準備：2時間				振り返り、修正：2時間											
	6	感謝祭発表準備							プレゼンテーションボード制作準備：2時間				振り返り、修正：2時間											
	7	植物の育成と管理 9							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	8	花壇作成とコミュニケーション							施行の準備：2時間				振り返り：2時間											
	9	植物の育成と管理10							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	10	学外実習							施行準備：2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	11	植物の育成と管理11							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	12	植物の育成と管理12							植物図鑑の作成・2時間				写真整理、PFの制作・2時間											
	13	研究発表準備（ポートフォリオまとめ）							パワーポイント作成準備・2時間				写真整理、パワーポイント修正：2時間											
	14	卒業発表まとめ							パワーポイント作成準備・2時間				写真整理、パワーポイント修正：2時間											
15	卒業発表まとめ							発表準備：3時間				振り返り・2時間												
成績評価基準	作品制作30%、課題30%、受講態度40%																							
成績評価方法(割合%)	筆記試験				レポート				課題				実技				授業の取組				その他(作品制作)			
									30%								40%				30%			
教科書	特になし。必要に応じてプリントや参考文献として提示								参考書	ガーデンデザイン入門 造園施行必携														
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	個々の研究および取り組みに関してのチェックとサポート、また社会活動等の参加などのサポート、提案。学習の振り返りとしてのポートフォリオの作成や植物のリストをまとめる植物図鑑の作製などを繰り返し提出しチェックする。																							

科目名	ガーデニング実習 Practical Gardening							担当者	大石 道義 西川 真水 宮島 淳二 高宮さやか 大田香代子		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	2	授業形態	実習	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。 ・実地での技術を各論として学んだ総合実習（1年次通年科目）の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。 										
授業概要	1年次それぞれのコースの特性に合わせた実習スキルの基本を学び、各論ともいえる様々な講義科目などを通して必要な知識習得を行った。また設計演習では空間作りのプロセスも学んだ。本実習では学んできたことを踏まえて、ゼミナルごとに与えられた敷地空間の設計から施工までを行う。ゼミナルごとに別れそれぞれにテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等その根拠となる図書を作成し、このデザインをもとに二丈キャンパス等において実際の空間制作を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	ガイダンス						シラバスを熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	整地・測量						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	遣方						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	現地調査及び測量						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	現地調査及び測量						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	現地調査及び測量						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	構想						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	構想						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	計画・設計						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	計画・設計						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	計画・設計						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	地形分析と敷地分析						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	地形分析と敷地分析						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	積算・工程計画						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
15	積算・工程計画						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
成績評価基準	授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50%、実技30%、設計計画20%で評価する。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(設計計画)
							30		50		20
教科書	使用しない				参考書	造園施工管理技術編 造園施工必携 建設物価					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。										

科目名	ガーデニング実習 Practical Gardening							担当者	大石 道義 西川 真水 宮島 淳二 高宮さやか 大田香代子					
	開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (後期)	単位数		2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	必修	
授業の 到達目標	<p>・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。</p> <p>・実地での技術を各論として学んだ総合実習（1年次通年科目）の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。</p>													
授業概要	<p>1年次それぞれのコースの特性に合わせた実習スキルの基本を学び、各論ともいえる様々な講義科目などを通して必要な知識習得を行った。また設計演習では空間作りのプロセスも学んだ。本実習では学んできたことを踏まえて、ゼミナールごとに与えられた敷地空間の設計から施工までを行う。ゼミナールごとに別れそれぞれにテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等その根拠となる図書を作成し、このデザインをもとに二丈キャンパス等において実際の空間制作を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。</p>													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	ドローン操作による敷地調査						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	2	ドローン操作による敷地調査						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	3	測量・遣方						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	4	石組工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	5	石組工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	6	石組工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	7	工作物						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	8	工作物						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	9	工作物						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	10	高木植栽工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	11	高木植栽工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	12	低木・地被植栽工						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	13	工事記録収集						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	14	工事記録収集						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
	15	工事記録とりまとめ						実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)				
成績評価基準	授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50%、実技30%、設計計画20%で評価する。													
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他(設計計画)
										30		50		20
教科書	使用しない						参考書		造園施工管理技術編 造園施工必携 建設物価					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。													

科目名	植物育成管理学 Management of Raising Plants						担当者	宮島 淳二 高宮さやか 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修
授業の到達目標	緑地環境の主役である植物の形態、生理、生態などの諸特性を理解し、実際に植物を育成管理する際にその知見を応用することができるようになる。										
授業概要	緑地の意義及びそれを構成する植物の形態、生理、生態などの諸特性を理解を深め、実際に植物を育成管理のあり方を学ぶ。とりわけ、宮島教授は前職が県庁の林業技術職員であったことから、樹木の生育環境や樹木の育成管理について、苗木の育成から樹木の造成目的に合わせた管理の方法について講義を行う。										
授業計画	授業のテーマ					予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	緑地環境と人間				教科書①「緑地環境と人間生活」及び「人間と緑地環境」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	2	植物の生育と緑地環境				教科書①「緑地植物の生育と緑地評価」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	3	樹木の特徴				教科書①「本緑地植物の種類と生態」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	4	樹木の構造と機能				樹木医の手引き「樹木の構造と機能」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	5	植物の生理（水分）				教科書②「第2章環境」の「水」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	6	植物の生理（土壌）				教科書①「Ⅲ緑地植物の生育と緑地評価」の3、緑地の土壌環境評価の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	7	植物の生理（気象）				教科書①「Ⅲ緑地植物の生育と緑地評価」の3、緑地の気象環境評価の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	8	植物の生理（光）				教科書②「第2章環境」の「光」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	9	植物の生理（光合成）				教科書②「第5章光合成と代謝」の「光合成」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	10	植物の生理（微生物）				教科書②「第6章栄養」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	11	植物の生理（微生物）				樹木医の手引き「第6章樹木と菌類のかかわり」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	12	植物の生理（大気汚染）				樹木医の手引き「第8章樹木と環境ストレス」の第2節大気汚染の診断と対策の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	13	育成管理 1				教科書①「Ⅵ緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	14	育成管理 2				教科書①「Ⅵ緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
	15	まとめ				教科書、配付した資料に目を通しておくこと（2時間）		今回学んだ授業内容を復習しておく（2時間）			
成績評価基準	樹木鑑定試験				12月に実施する樹木鑑定試験で70%以上の得点であること。						
	レポート				期限内に提出し、60%以上の正答率であること。						
	筆記試験				レポートの成績と合算して、60%以上の得点であること。						
成績評価方法（割合）	筆記試験		レポート		課題		実技（樹木鑑定）		授業の取組		その他（ ）
	60%		20%				20%				
教科書	1. 緑地環境学 2. 絵解き植物生理学入門					参考書		樹木医の手引き			
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、回答例を授業で解説する。										

科目名	環境設計演習 II Landscape Design Practice II							担当者	久保田 家 且 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	1. 日本人の自然観や美意識を表現する一手法であり、伝統的な日本文化の象徴の一つと言える日本庭園の設計ができるようになる。 2. 景観やバリアフリー等を意識した設計ができるようになる。 3. 計画地周辺の状況や施主の条件・課題を整理し、それらに応えられる設計ができるようになる。 4. コンセプト設定まではグループ作業、その後は各個人で庭園設計を完成させ、自分の作品のプレゼンを行えるようになる。 以上のことを目標とする。											
授業概要	当該科目は、これまで学んできた造園施設設計演習や環境設計演習 I を継続するものであるが、座学で教授してきた①緑地計画学 ②庭園設計論を具現化するものであり、個人庭園を設計する際の課題整理から設計図・設計書作成及び作品のプレゼンまでを一貫して教示する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	ガイダンス						日本庭園関連図書により予習すること。(30分)	今回の授業で学んだ内容を復習すること (30分)			
	2	事例の施設構造図等検討						日本庭園関連図書により予習すること。(30分)	今回の授業で学んだ内容を復習すること (30分)			
	3	課題の設定と条件整理						日本庭園関連図書により予習すること。(30分)	今回の授業で学んだ内容を復習すること (30分)			
	4	庭園のコンセプト設定						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で学んだ内容を復習すること (30分)			
	5	ゾーニングと動線図作成						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で学んだ内容を復習すること (30分)			
	6	庭園構想図作成						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	7	庭園平面計画図作成 I						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	8	庭園平面計画図作成 II						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	9	庭園平面計画図作成 III						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	10	庭園平面計画図作成 IV						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	11	庭園平面計画図作成 V						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	12	各種計画図作成 (施設計画高図、給排水計画図等)						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	13	施設詳細図及び立面図等作成						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	今回の授業で取組んだ設計をすすめること (30分)			
	14	企画提案書作成						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	企画提案書を見直す等復習すること (30分)			
	15	課題作品プレゼン・講評						庭園設計関連図書により予習すること (30分)	プレゼン手法を復習すること (30分)			
成績評価基準	課題作品について ①伝統的な日本庭園の技法を駆使した設計となっているか。 ②景観やバリアフリーに配慮した設計となっているか。 ③与条件をクリアした設計となっているか。 を審査。さらに、作品のデザイン、機能、計画高等を審査し評価する。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()	
					80				20			
教科書	プリントを配布する。						参考書	「造園施工管理技術編」日本公園緑地協会、 「造園実務ポケットブック」木村了 (株) オーム社				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題作品は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	環境設計演習Ⅲ Landscape Design Practice Ⅲ							担当者	勝野 靖弘 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	<p>環境（空間）デザインの手法と、自分のデザインイメージを表現する手法を学んでもらいます。敷地の詳細情報を把握し、周辺環境や利用者の気持ちなどを分析・想像しながら、「この場所にあつたらいい」空間をデザインしてもらいます。</p> <p>自分のデザインの良さを人に伝えられるようにするために、図面作画、現況分析やコンセプトの表現、リアルなイメージを伝えるためのスケッチや写真の使い方などを学んでもらいます。</p>											
授業概要	<p>近隣の公園などの敷地に新しい空間を作ることを想定してデザインしてもらいます。手描きの図面作成。現況分析のまとめ。模型作成。イラストレーターでのプレゼンボード作成。簡潔で分かりやすい発表。など、段階ごとに色々な方法でイメージを伝える技術を学んでもらいます。</p>											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス・課題の設定					色々なランドスケープ(実物・写真など)を見ておく 2h		課題内容とスケジュールの再確認 1h			
	2	現地調査					時間を見つけて、現地に何度も行ったり、関連する施設などを見学する。写真を撮ったり、スケッチしたりして、深く理解するようにする。 6h		毎回の授業内容で受けたアドバイスに従い、メモやスケッチを丁寧に作成する。 3h			
	3	テーマの決定										
	4	現地・敷地分析図の作成										
	5	課題地の原図作成										
	6	コンセプトワーク・ラフスケッチなどのエスキス作成										
	7	コンセプトワーク・ラフスケッチなどのエスキス作成										
	8	平面図作成										
	9	平面図作成										
	10	パース・ダイアグラムなどの作成										
	11	パース・ダイアグラムなどの作成										
	12	プレゼンテーション・資料作成の作成										
	13	プレゼンテーション・資料作成の作成										
	14	プレゼンテーション・資料作成の作成										
15	プレゼンテーション					プレゼンテーションの練習 2h		指摘事項の修正 4h				
成績評価基準	授業態度 30%（前半の分析資料作成貢献度など） 成果品完成度 70%											
成績評価方法（割合%）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）	
					70				30			
教科書	特になし					参考書		ランドスケープデザイン（（株）マルモ出版） 庭 NIWA（（株）建築資料研究社） 九州ウォーカー（KADOKAWA） など				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。											

科目名	コンピュータ実習Ⅱ Practice in Computer II							担当者	勝野靖弘 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	<p>緑地計画は目的に応じて必要な屋外の測量や調査結果を正しく表現する必要があります。また、建築・土木設計との協働などで他社とのデータ交換、合成などが必要になります。CADで正確に図面を画き、データを扱う技術を習得しましょう。</p> <p>また、CADのすべての機能を習得する必要はありませんが、「どんなことができるか」を把握し、必要な機能をヘルプやネット検索を利用して方法を習得できるようになりましょう。</p>											
授業概要	<p>福浜キャンパスや周辺の公園の木や花壇、ファニチャーなどを調査してCADで図面化してもらいます。毎回、基本的な操作法は説明しますが、わからないことの質問の仕方や、自分で方法を見つけるテクニックも身に付けてもらいます。</p> <p>基本的なCADの機能を習得してもらうとともに、「見やすい図面」のために気を付けなければならないことも学んでもらいます。</p>											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	緑地計画の環境設定						シラバスに目を通すこと(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	2	緑地計画平面図入力(敷地測量図、縮尺)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	3	〃(建物配置図)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	4	〃(線描や図の表現)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	5	緑地計画図作成(ガーデンファニチャーなど)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	6	〃(植栽計画図・ワークシートとの連携)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	7	〃(造作・植栽指示図、注釈など)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	8	緑地計画図の完成(タイトル・凡例など)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	9	3D立体化した緑地計画図の作成(階段・段差のある庭、壁の立体化)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	10	〃(ガーデンファニチャーの立体化)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	11	〃(植栽の立体化)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	12	緑地計画立体図作成(施工詳細図など)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	13	緑地計画パース作成(ビューポートを使ったプレゼンテーションの準備)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	14	〃(家屋からの眺めをシミュレーション)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
	15	まとめ 緑地計画プレゼンテーション完成(アニメーション見学)						配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)			
成績評価基準	<p>受講態度等 30% (主に毎回の授業終了時の図面印刷及びファイルの提出内容)</p> <p>最終成果品提出 70% (印刷の美しさ、CADファイル内容の洗練度)</p>											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(最終成果品)	
									60%(毎回の課題提出含む)		40%	
教科書	特になし					参考書	特になし					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。											

科目名	測量実習Ⅱ							Survey Practicing Ⅱ		担当者	田 上 博		
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年 (前期)	単位数	2	授業 形態	実習	必修・選択 の区分	選択		
授業の 到達目標	距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術をみにつける。												
授業概要	「測量実習Ⅰ」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時にGPSやGISを活用した新しい測量に関する実習も行います。 コンピュータによる実習ではExcel・ArcGIS・Google Mapなどを使います。 関数電卓と製図道具が必要です。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション 計算基礎						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	2	測量計算について						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	3	トータルステーションの取り扱い						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	4	角度と距離の測定						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	5	角度と距離の測定						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	6	トラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	7	トラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	8	二丈キャンパスのトラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	9	二丈キャンパスのトラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	10	二丈キャンパスのトラバース測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	11	二丈キャンパスのトラバース測量まとめ						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	12	二丈キャンパスのトラバース測量まとめ						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	13	二丈キャンパスの細部測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	14	二丈キャンパスの細部測量						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	15	まとめ						実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	40						30				30		
教科書	①細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) ②プリントを配布します						参考書		吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	測量実習Ⅱ							Survey Practicing Ⅱ		担当者	田 上 博			
開講年度	2020	学年	2	開講期		通年(後期)		単位数	2	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術を身につける。													
授業概要	「測量実習Ⅰ」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時にGPSやGISを活用した新しい測量に関する実習も行います。 コンピュータによる実習ではExcel・Arc GIS・Google Map などを使います。 関数電卓と製図道具が必要です。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	トータルステーションによる細部測量の計算法							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	2	コンピューターによる測量計算							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	3	コンピューターによる測量計算							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	4	コンピューターによる測量計算							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	5	コンピューターによる測量計算							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	6	コンピューターによる測量計算							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	7	GPS 測量							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	8	GPS 測量							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	9	GIS の理論							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	10	GIS の理論							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	11	GPS 測量を利用した GIS							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	12	GPS 測量を利用した GIS							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	13	GIS の構築							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	14	GIS の構築							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
	15	まとめ							実習内容に対し1時間程度の予習が必要		実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要			
成績評価基準	前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
	40						30					30		
教科書	①細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) ②プリントを配布します							参考書	吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。													

科目名	造園施工管理論 Theory of Management for Landscape construction							担当者	高宮 さやか 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	造園工事と緑地管理に関する基礎知識と施工管理の在り方を理解し、工程表の作成と出来高管理ができるようになる。また、造園特有の植物材料に必須の管理項目を具体的に挙げるができるようになる。											
授業概要	わが国の造園業の歴史と現状、現在の造園業が置かれている環境、これからの造園の在り方、とりわけ生態系に配慮した緑地の在り方と管理の手法の重要性や、花を使う造園の重要性、世界的に注目される日本庭園の施工と管理の在り方に目を向けたくうえで、実際の現場での施工管理の在り方、その遂行に必要な知識を、テキストを使用して講義する。実務家教員が公共および民間工事の現場での経験から、実際的な対応の方法と現場で必要な心構えや造園特有の事象を織り込んで講義する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	造園工事業、造園業界について						最近の公園に関する話題を拾っておく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	2	入札とPPP、設計図書						PPPについて調べておく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	3	施工計画と工程計画1(バーチャート)						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	4	施工計画と工程計画2(ネットワーク)						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	5	出来形管理と出来高管理と設計変更・原価管理						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	6	出来形管理と出来高管理(現場実測)						現場を下見しておく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	7	出来形管理と出来高管理のまとめ						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	8	品質管理1						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	9	品質管理2						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	10	植栽工の品質管理と枯れ補償・植樹保険						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	11	緑地の維持管理の特性とあり方について						身近な公園緑地の管理状態を観察する(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	12	建設副産物、環境保全						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	13	安全管理-労働災害、近隣対策						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	14	工事費の構成と積算						テキストの該当箇所を読んでおく(2時間)	授業で学んだ内容の復習(2時間)			
	15	まとめ						ノート整理と検定の準備(2時間)	疑問点を調べる(2時間)			
成績評価基準	筆記試験により行う。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
	100%											
教科書	(一社)日本公園緑地協会『造園施工管理技術編』プリント配布						参考書	各自治体が発行する土木工事施工管理の手引き				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	添削して翌週返却する。											

科目名	都市計画 Urban Planning and Design							担当者	久保田 家 且 実務家教員		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	1. 都市計画全般の基礎知識を習得する。 2. 都市計画上の緑地空間の位置づけについて学ぶ。 3. 都市計画による緑地空間の確保手法を習得する。 以上のことを目標とする。										
授業概要	1. 都市の発達の歴史及び都市計画の制度等を体系的に講義する。 2. 都市計画による計画的な都市整備について講義する。 3. 都市計画による緑地空間の確保について詳述する。 4. 近未来の都市計画等について講義する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	ガイダンス						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	2	都市の歴史と都市計画						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	3	都市計画の定義と制度						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	4	都市計画の内容と決定等						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	5	都市計画区域と区域区分						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	6	地域地区による土地利用と都市施設						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	7	都市計画と建築						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	8	市街地開発事業と都市の再生						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	9	都市のオープンスペースⅠ						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	10	都市のオープンスペースⅡ						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	11	現地見学						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	12	都市景観と歴史的風致のまちづくり						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	13	都市の安全安心						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	14	都市計画の課題と近未来の都市計画						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
	15	まとめ						都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間)	今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)		
成績評価基準	筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	60	30			10						
教科書	プリントを配布する。						参考書	「欧米公園発達史」佐藤昌(株)都市計画研究所、「都市計画」樗木武森北出版(株)			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート等は2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	住環境論 Theory of Living Environment						担当者	西川 真水			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	①造園・ランドスケープの視点から住環境の歴史を説明でき、実際の計画・設計に関係づける。 ②都市環境・住環境に関する様々な知識・ポキャブラリーを説明できる ③まちなみや地域環境を形成するデザインコードを発想し、実際に説明できる。										
授業概要	人間の生活する環境は地球上の広範囲に広がる。私たち日本で生活する者にとっては温帯モンスーンの湿潤な気候を考慮しなければならないし、近年の温暖化の影響を考えた住環境のあり方を意識しなければならない。私たち造園・ランドスケープに関わるデザイナー・技術者は様々な影響下で如何に住環境のデザイン・整備に関わっていくのか講義する。										
授業計画	授業のテーマ				予習内容・時間			復習内容・時間			
	1	ガイダンス・都市の定義			福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	2	古代都市の生活空間			福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	3	ギリシャ、ローマ時代の都市(都市計画のスタート)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	4	人口集中する都市の生活空間			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	5	中世都市(自然発生的都市と住環境)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	6	ルネッサンス・バロック時代の都市(広場と道)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	7	住環境の尺度1(人口と面積)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	8	住環境の尺度2(法的側面)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	9	近代都市(社会資本の概念、発達する都市)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	10	都市の保存(ローマ・中世都市の現在)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	11	アメニティとアセスメント			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	12	住環境に関する数学(応用統計学)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	13	住環境に関する数学(空間情報工学)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	14	住環境に関する数学(地理情報システム)			前回の講義ノートの確認(2時間)			講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)			
	15	GPSとまとめ			前回の講義ノートの確認(3時間)			講義ノートのまとめ(2時間)			
成績評価基準	到達目標①②③に対し、提出ノート・レポート(40%)で講義記録と予習復習が行われているか、また到達目標③に対して提出課題(40%)で、街並みや社会的要請が明確に理解され、造園・ランドスケープ分野のプランニングやデザインに展開できているかを評価し、さらに授業への取り組み態度を加えて総合的に成績を評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
			40%		40%				20%		
教科書	プリントを配布				参考書		「エクステリアプランナーハンドブック」建築資料研究社 「向こう三軒両隣り」田中敏博/インデックス・コミュニケーションズ				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	最終的に提出された、ノート・レポートと課題は必要なコメントを添えて発表会後に返却する。										

科目名	環境保全論 Environmental Conservation							担当者	宮島 淳二 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	「環境問題」について、造園家の立場からの考えや一般的な環境保全の問題について学ぶことにより、現在社会で問題となっている「環境問題」とはどういうものかを的確に理解し、自ら説明できるようになる。											
授業概要	「環境問題」について、まず、造園家の立場で環境保全に対する社会的責務を学び、その上で一般的な環境保全の問題について学ぶ。最終的には現在社会で問題となっている「環境問題」は全地球あるいは惑星規模での問題であることについて学ぶ。また、「身近に起こっている環境問題」というテーマでグループ討議を行い、討議したことをグループごとに発表する。とりわけ、前職が県庁の林業技術職であったことを生かし、森林・林業を対象とした自然環境の諸問題について解説する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	ガイダンス						環境保全に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	2	造園の社会的職責・職能と環境保全						造園施工管理技術編等造園に関する書籍で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	3	エコロジーと環境保全、環境倫理						「自然保護」など参考書に目を通しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	4	地球と人間の歴史						教科書「Ⅱ人間と緑地環境」に目を通しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	5	地球環境問題						地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	6	環境問題に直面する国々						地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	7	リモートセンシング						教科書「Ⅲ緑地植物の生育と緑地評価」に目を通しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	8	身近で起こっている環境問題(グループ討議)						地球環境に関する書籍、ニュース等から議題を準備しておく(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	9	森林測量						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	10	森林航測						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	11	測樹学						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	12	大気科学						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	13	地球発達史						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	14	惑星科学						事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
	15	まとめ						教科書、配付した資料に目を通しておくこと(2時間)	今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)			
成績評価基準	授業の取組み	グループ討議で積極的に発言したか、意見集約したか、または発表をしたか。発表に対して質問若しくは意見を述べたか。いずれかの行動が確認できること。										
	レポート	提出期限内に提出し、規定文字数の90%以上の文字数で、誤字・脱字がなく、文脈に問題が無いこと。										
	筆記試験	授業の取組み、レポートとあわせて60%以上の得点であること。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
	60%	20%			20%							
教科書	「地球環境がわかる」西岡秀三、宮崎忠国、村野健太郎技術評論社、「緑地環境学」永井富久、文永堂出版株式会社、ガイダンスで資料を配布する。					参考書	「造園施工管理技術編」(社)日本公園緑地協会、「自然保護」その生態学よ社会学、吉田正人、地人書館					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、解答例を授業で解説する。											

科目名	景観論 Theory of Landscape							担当者	武林晃司 実務家教員		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	トータルランドスケープ(景観)の中で、極めて重要な役割を担う緑地を含む環境設計は、計画から設計・施工に至るまで空間対象が多岐にわたり、その対象は、個人の住宅領域から都市のスケールまで及ぶ。都市生活者は、空間のスケール、個人や公共の領域等の区別はなく、目に見える範囲をすべて景観として捉え、評価を行う。本講義ではこれからの景観の概念や構成要素、評価の視点を学ぶとともに、環境設計における景観の配慮のあり方、緑地の重要性等を理解してもらう。										
授業概要	景観の概念や構成要素、評価の視点等、景観とは何かということを含んでもらう。次に、実際の景観計画・デザインの手法をデザインの実例や景観シミュレーション等をもとに示すとともに、3回程度のワークショップにより景観計画・デザインを体験してもらう。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	景観の基本的な考え方Ⅰ						シラバスに目を通すこと(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	2	景観の基本的な考え方Ⅱ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	3	景観計画の役割と目的						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	4	景観の捉え方Ⅰ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	5	景観の捉え方Ⅱ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	6	景観計画のためのアプローチⅠ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	7	景観計画のためのアプローチⅡ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	8	景観計画のための調査・分析Ⅰ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	9	景観計画のための調査・分析Ⅱ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	10	景観計画のための調査・分析Ⅲ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	11	景観の構造化のための視点及び方法Ⅰ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	12	景観の構造化のための視点及び方法Ⅱ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	13	景観の構造化のための視点及び方法Ⅲ						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	14	景観の設計における提示方法						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
	15	景観形成と自然、緑の景観的役割						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間)	授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)		
成績評価基準	筆記試験90%、授業の取組10%で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	90				10						
教科書	使用しない						参考書	景観論 G. エクボ、久保貞			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	植物病理学							Plant pathology		担当者	清水 進			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択			
授業の到達目標	植物を取り扱う上で必要な、植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法といった病理学の基礎的な知識の習得を目指します。このことにより、植物の病気の診断ができ、より効果的な防除法の選択が可能になる。													
授業概要	植物と病原との相互関係を中心に植物の病気について説明します。また、植物の病気の診断法および植物の病気に対する防御戦略を解説致します。動物と同じように植物にも病気があります。身近な植物の病気を材料に講義を致しますので、積極的に授業に参加して下さい。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	植物の病気と人間生活 (1)					植物の健康状態の観察・2時間		今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間					
	2	〃 (2)					ジャガイモ疫病・2時間		植物の健康・2時間					
	3	〃 (3)					イネいもち病・2時間		ジャガイモ疫病・2時間					
	4	発病とは、病徴と標徴					病徴と標徴・2時間		イネいもち病・2時間					
	5	感染メカニズム、伝染					感染メカニズム・2時間		病徴と標徴・2時間					
	6	病原の種類と特徴 (1)					ウイルスとは・2時間		感染メカニズム・2時間					
	7	〃 (2)					細菌とは・2時間		ウイルスとは・2時間					
	8	〃 (3)					菌類とは・2時間		細菌とは・2時間					
	9	環境条件と病気の発生					環境条件と病気・2時間		菌類とは・2時間					
	10	病気の診断					病気の診断法・2時間		環境条件と病気・2時間					
	11	主な植物の病害と防除法 (1)					ウイルス病防除・2時間		病気の診断法・2時間					
	12	〃 (2)					細菌病防除・2時間		ウイルス病防除・2時間					
	13	〃 (3)					菌類病防除・2時間		細菌病防除・2時間					
	14	まとめ (1)					各種病原の特徴・2時間		菌類病防除・2時間					
15	〃 (2)					主な病害の防除法・2時間		各種病原の特徴・2時間						
成績評価基準	植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法の理解度(筆記試験)と授業への取組により評価する。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
	80%											20%		
教科書	「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター					参考書		「植物病理学」東京化学同人						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。													

科目名	造園昆虫・動物学演習 Garden Insects and Animals Practice							担当者	岩 熊 志 保 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	昆虫を目ごとに分類できる。 樹木を取り巻く昆虫、動物を同定できる知識を持つ。 対象昆虫に見合った総合的な防除方法を導き出すことが出来る。											
授業概要	野外に出て昆虫類を捕獲し、実際に観察しながら昆虫の分類を学ぶ。 樹木に害を及ぼす昆虫類の生態を把握し、総合的な防除をしていくための基礎を学ぶ。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	生態系の構造					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	2	昆虫の形態					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	3	昆虫の分類					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	4	昆虫の生態					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	5	昆虫標本作製					昆虫標本作製の仕方を調べる2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	6	植物に害を及ぼす昆虫の発生と環境(1)					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	7	〃(2)					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	8	〃(3)					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	9	〃(4)					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	10	防除方法(生物的防除/科学的防除/耕作的防除)					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	11	総合的害虫管理					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	12	鳥獣の被害と生態/野生動物の管理					教科書を読む2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	13	ビオトープ					ビオトープとは何かを自分なりに調べる2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	14	生物多様性					生物多様性とは何かを自分なりに調べる2時間		その日の授業内容を見直す2時間			
	15	まとめ					今までの授業内容をすべて見直す2時間		今までの授業内容をすべて見直す2時間			
成績評価基準	試験にて到達目標を評価する。授業途中に課題を出し、それも加味する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
	80		10	10								
教科書	最新・樹木医の手引き(日本緑化センター)					参考書	もっとくわしい植物の病害虫百科(根本久・矢口行雄・学習研究社)					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ワーク課題は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	農薬・肥料学 Agricultural medicines and Fertilizer Science							担当者	清水 進			
	開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数		2	授業形態	講義	必修・選択の区分
授業の到達目標	緑地造成とその維持管理に発生する、土壌、肥料および農薬に関する諸課題を理解できる知識を得る。このことにより、適切な植物の管理法及び病虫害の防除法が可能になる。											
授業概要	土壌、肥料および農薬に関する基礎的な知識を習得することを目指す。また、樹木の病虫害の被害に対する対策を考えます。日頃より身近な植物の環境に興味を持ち、積極的に授業に参加して下さい。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	植物の生育に必要な養分						植物の生育と養分・2時間	今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間			
	2	肥料の種類及び性質						肥料の性質・2時間	植物の生育と養分・2時間			
	3	各種土壌の特徴						土壌の特徴・2時間	肥料の性質・2時間			
	4	土壌調査手法						土壌調査手法・2時間	土壌の特徴・2時間			
	5	土壌に由来する被害の診断とその対策						生体内の働き・2時間	生体内の働き・2時間			
	6	各要素の欠乏・過剰に対する植物の反応						要素と植物の反応・2時間	生体内の働き・2時間			
	7	土壌改良手法						土壌改良手法・2時間	要素と植物の反応・2時間			
	8	農薬について						農薬とは・2時間	土壌改良手法・2時間			
	9	農薬の安全						農薬の安全・2時間	農薬とは・2時間			
	10	病虫害防除の適期判断						病虫害防除・2時間	農薬の安全・2時間			
	11	緑化樹木の健康診断（座学）						樹木の健康診断・2時間	病虫害防除・2時間			
	12	〃（実習）						樹木の観察・2時間	樹木の健康診断・2時間			
	13	樹勢回復手法松くい虫の診断とその防除対策						樹勢回復手法・2時間	樹木の観察・2時間			
	14	肥料及び病害に対する模擬テスト						肥料及び病害・2時間	樹勢回復手法・2時間			
15	森林・緑地に求められる役目（まとめ）						森林・緑地の機能・2時間	肥料及び病害・2時間				
成績評価基準	土壌、肥料および農薬に関する知識の理解度（筆記試験）と授業への取組により評価する。											
成績評価方法（割合）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）						
	80%				20%							
教科書	「最新・樹木医の手引き」財団法人日本緑化センター					参考書	「緑地環境学」小林・福山編文永堂					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	造園関係法規 Landscape Relational Laws							担当者	田 沼 和 夫 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・将来自分が関係する緑地環境分野の法律を理解できるようになる。 ・緑地環境関連の法律を自分で理解し、具体的に応用することができるようになる。 ・緑地環境分野の資格には必須である。(ビオトープ計画管理士等) 											
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基準法や都市公園法などを解釈し、応用できるようになる。 ・11月の2級造園施工管理技士試験の基礎を学習できる。 ・社会の動向を一般化して解釈できるようになる。 											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	建設業法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	2	労働基準法・労働安全衛生法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	3	都市計画法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	4	都市公園法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	5	都市緑地法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	6	環境基本法・生物多様性基本法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	7	自然公園法・自然環境保全法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	8	土地区画整理法・宅地造成等規制法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	9	建築基準法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	10	環境影響評価法（環境アセスメント法）					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	11	世界遺産					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	12	景観法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	13	文化財保護法					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	14	造園関係法規の最新動向及び法律改正解釈					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
	15	総括及び応用					法律用語の予習 2時間		法律の応用 2時間			
成績評価基準	・造園関係法規を解釈して、自分の課題に応用できるかを評価基準とします。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()	
	70								30			
教科書	適宜、プリント、関係する新聞記事等を配布します。					参考書		造園施工管理（法規編）日本公園緑地協会				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	・質問については、適宜受付、その場で回答します。											

科目名	緑地管理演習 Garden Management Practice							担当者	藤原 良治 佐々木一成 山本 俊光 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	造園作品・植物・公園施設等の維持管理運用に関する知識・技術を具体的作業を演習することにより会得する。											
授業概要	実習場や近隣施設を通じて独創性を深め、より実践的な演習を行っていきます。「創造と草花」を理念として二丈キャンパスの管理・利活用運用を考えていく。樹木、草花等の植物の知識習得に努める。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス／キャンパス巡回					シラバスを熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	2	整枝剪定、サイクル堆肥材活用					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	3	整枝剪定、水質管理					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	4	整枝剪定、温室管理					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	5	整枝剪定、衰弱樹木の養生					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	6	整枝剪定、増殖					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	7	病害虫防除・除草／キャンパス巡回					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	8	庭園管理、芝生管理					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	9	庭園管理、芝生管理					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	10	庭園管理、芝生管理					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	11	地域貢献学外緑地管理支援					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	12	地域貢献学外緑地管理支援					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	13	公園緑地の運営・利活用促進、施設管理／キャンパス巡回					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	14	学外緑地管理見学					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	15	まとめ					演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
成績評価基準	授業の取組50%、実技50%で評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
				50	50							
教科書	「造園施工管理 施術編」 公園緑地協会					参考書	適宜紹介します					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。											

科目名	ガーデン管理演習 Gardening						担当者	藤原 良治 佐々木一成 山本 俊光 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデン演出の組み立てを理解して習得する。 ・植物の性質と特徴を学習して数多くの植物名を覚える。 										
授業概要	<p>ガーデン演出を行う再の作業手順や作業効率などを演習を通じて学習し、より合理的な取り組みを追求していきます。</p> <p>メンテナンスでは、季節の移り変わりや植物の生育に応じた植栽管理を行い学習していきます。</p> <p>日頃から植物の生育をよく観察し、特徴を捉えて植物名を覚えていきましょう。</p>										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガーデン観察及びメンテナンス					シラバスを熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	ガーデン観察及びメンテナンス					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	ガーデン観察及びメンテナンス					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	ガーデンエレメントの制作					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	ガーデンエレメントの制作					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	ガーデンエレメントの制作					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	ガーデンの整枝、剪定、清掃					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	学外ガーデン管理見学					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	まとめ					演習で取り組み内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	授業の取組50%、実技50%で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
				50	50						
教科書	「造園施工管理 施術編」 公園緑地協会					参考書	適宜紹介します				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。										

科目名	フラワー装飾 Flower Coordination							担当者	野口 静香 実務家教員			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	フラワー装飾技能検定試験内容である3パターン実技・学科。最終目的全員資格取得を目指し受験生全員でタイムを計り制作・練習を重ねそれぞれのやりやすい方法、工夫できる点などを教えコミュニケーションとりながら合格を目指します。											
授業概要	ドーム型アレンジメント、スパイラル花束、ブートニア、試験内容を毎回時間を計りながら作っていきます。(花材費、別途必要です)											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	3級リボンテクニック						シラバスを熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	スパイラルブーケ、アレンジメント、ブートニア						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	学科試験、過去問題、対策学習						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	試験にむかう姿勢、作品の出来映え、サイズ、時間、花の扱いでの総合評価											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
							50		50			
教科書	フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)					参考書	過去の授業資料 検定試験資料					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題作品の講評や解説の時間を設ける。											

科目名	フラワーコーディネーション Flower Coordination							担当者	野口 静香		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	植物・花に携さわる職業に就く事を前提に生活空間における自由な発想で花や緑を装飾、デザインできる。花を通して自分の個性が表現でき人とのコミュニケーションできる総合的にできるデザイナーになれる。										
授業概要	1年生でフラワーの授業を受けなかった学生も受けた学生も造型・表現方法・花や植物を使った可能性、いろいろ使って作っていく商品として通用する作品。(花材は別途必要です)										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	フラワートピアリー制作と由来						シラバスを熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	2	オータムギフトアレンジ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	3	ハロウィンアレンジメント						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	4	色彩の変化を感じる花束とラッピング						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	5	ブリザーブドフラワーアレンジ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	6	木の実を使ってフラワーケーキ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	7	木の実のオーナメント						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	8	ドライフラワー使ってハーバリウム						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	9	クリスマスツリーアレンジ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	10	クリスマスリース						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	11	お正月 門松、リース制作						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	12	お正月 生花アレンジメント						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	13	成人式、髪飾り、ギフトアレンジ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	14	バレンタインギフトアレンジ						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
	15	テーブルコーディネイト						教科書を熟読しておくこと(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)	
成績評価基準	植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、個性、感性、作る姿勢等総合評価します。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
							50		50		
教科書	フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)					参考書		なし			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題作品の講評や解説の時間を設ける。										

科目名	園芸福祉						Welfair Horticultur		担当者	佐々木 一成		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	園芸すなわち身近な場所での植物とのかかわりは、私たち人間にさまざまな効用をもたらしてくれる。それをひきだす造園・園芸・社会福祉のあり方はいかにあるべきかを考え、知識、技能を学び、将来、初級園芸福祉士として活躍することができるようになる。											
授業概要	授業は講義形式を基本とするが、園芸福祉の楽しさや難しさは実習を通じて行う。どうすれば楽しく、無理のない形で誰もが関われるかということをも本人たちの実体験のなかで学ぶことにする。理論が実践にどのように結びつくかを学び取って欲しい。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	園芸福祉の基本的な理解					教科書「園芸福祉入門」p5～p26を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	2	園芸福祉を展開する地域システムの可能性					教科書「園芸福祉入門」p27～p41を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	3	園芸の効用1 生産・経済					教科書「園芸福祉入門」p43～p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	4	園芸の効用2 心理					教科書「園芸福祉入門」p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	5	園芸の効用3 環境					教科書「園芸福祉入門」p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	6	園芸の効用4 社会					教科書「園芸福祉入門」p45を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	7	園芸の効用5 教育					教科書「園芸福祉入門」p45を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	8	園芸の効用6 精神					教科書「造園施工管理技術編」p45～p46を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	9	実践するためのノウハウやカリキュラムづくり					教科書「園芸福祉入門」p133～p178を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	10	園芸福祉の日本の現状					教科書「園芸福祉入門」p44～p77を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	11	園芸福祉の諸外国の実情					教科書「園芸福祉入門」p78～p132を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	12	活動の運営のマネジメント					教科書「園芸福祉入門」p179～p193を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	13	プログラムづくりと実習					教科書「園芸福祉入門」p194～p221を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	14	モデルプランの計画設計					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
	15	まとめ					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)			
成績評価基準	主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	80				10				10			
教科書	①「園芸福祉入門」進士五十八・吉長成恭監修 日本園芸福祉普及協会編 創森社出版 ②プリントを配布します					参考書		①「日比谷公園」(進士五十八著) ②「植物と人間の絆」(チャールズ・A・ルイス著)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	造園工学 landscape engineering						担当者	田上 博			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	社会的な基盤の整備が進み、私たちの生活も豊かなものになってきた。それとともに生活環境の質を高めるための社会的ニーズもより高度なものになってきている。造園の分野においても、庭師や植木職に関わる機能はわずかを占めるのみとなり、土木に関連する部分が大半を占めるに至っている。したがって、本講の目標は、一般土木工学技術はもちろんのこと、21世紀の課題である「自然と人間の共生」や風土の形成に肝要な基盤整備であることを認識する。										
授業概要	授業は講義形式で行う。前半は、2級土木施工管理技術検定に合格が目標である。後半、建築計画、国土形成、今後の地形の取扱方、地形との処し方を考える。地形を物理的存在としのみにとどまらず、風土形成基盤的存在を捉え、地形に関わる基礎的要件、応用的視座を学ぶ。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	基礎数学					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	土工					教科書「造園施工管理技術編」p693～p713を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	仮設工					教科書「造園施工管理技術編」p686～p692を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	基礎工					教科書「造園施工管理技術編」p664、665配布資料を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	コンクリート構造					教科書「造園施工管理技術編」p665～p685を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	建設機械					教科書「造園施工管理技術編」p819～p840を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	港湾工学					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	道路工学					教科書「造園施工管理技術編」p21～p28を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	地形学の変遷と基礎					教科書「造園施工管理技術編」p54を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	岩石学・地質学の基礎					教科書「造園施工管理技術編」p170～p171を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	地形図と地図情報					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	土地資源分析と土地利用計画の基礎					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	地形分析・地形と土地利用					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	地形と造園/地形のイメージとランドフォームデザイン					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	地形と建築/建築概論及び、デザインウィズネーチャー					教科書「造園施工管理技術編」p69～p75を熟読しておくこと。(2時間)		授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	80				10				10		
教科書	①「造園施工管理技術編」(日本公園緑地協会造園施工管理委員会編) ②プリントを配布します					参考書	①「環境緑化工学」(小橋澄治他編) ②「緑化土木」(斉藤一雄著)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	企業実習 Practical Training of Business							担当者	大石 道義 西川 真水 宮島 淳二 高宮さやか 大田香代子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期・後期	単位数	2	授業形態	実習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	企業実習を通じてキャリアデザインを明確にすることができる。											
授業概要	①実務を通じて造園・園芸・自然環境など緑地技術・技能・知識のレベルアップにつなげる。 ②最新の業界の知識を習得する。 ③企業理念、企業の実践的な考え方と仕事の進め方を習得する。 ④社会人としての心構えおよびビジネスマナーを習得する。 ⑤就職活動の一環等を目的に造園・ガーデン・エクステリアの設計・施工・管理運営・園芸栽培・販売など、造園・園芸・自然環境に関連する分野での実習を行う。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	事前研修・安全教育						企業研究をすること (1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	2	企業との打ち合わせ						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	3	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	4	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	5	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	6	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	7	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	8	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	9	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	10	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	11	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	12	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	13	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	14	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
	15	企業・団体の現場での研修						前日の企業での研修内容を把握すること(1時間)	学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)			
成績評価基準	評価は研修先の受け入れ担当者の評価(実習評価表)と実習報告書、実習日報をもとに担当教員が学則27条の規定に基づいて評価を行う。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(報告書・日報等)	
											100	
教科書	使用しない					参考書	「短大生の就活編」 株式会社ディスコ					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	実習報告書、実習日報は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	造園施工管理演習 Exercises in Management for Landscape Construction							担当者	佐々木 一成		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	2級造園施工管理技術検定学科試験合格が目標である。検定試験は11月に全国一斉に実施されるため、試験直前に週2回の授業を14回目まで行う。最終授業（15回目）は、試験終了後のため、試験の解答を行う。										
授業概要	配布した受験対策問題集を繰り返し解き、得意科目・不得意科目を見出す。不得意科目は、繰り返し学習し克服すること。試験合格のため、ひたすら集中的に問題集を解いていくので、教員および学生同士のコミュニケーションを通じ、疑問に思ふ点は、例を挙げ具体的に述べるので、質問してほしい。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	R1年度過去問題解答・解説						シラバスに目を通すこと（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	2	H30年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	3	H29年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	4	H28年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	5	H27年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	6	H26年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	7	H25年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	8	H24年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	9	H23年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	10	H22年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	11	H21年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	12	H20年度過去問題解答・解説						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	13	予想問題集①						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	14	予想問題集②						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
	15	今年度試験問題 解答						前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する（1時間）	授業で学んだ内容を各自整理しておく（1時間）		
成績評価基準	本講は単位認定科目ではないので、筆記試験は実施しない。授業の取組80%、課題提出20%で評価する。										
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）					
			20		80						
教科書	プリントを配布する					参考書	造園施工管理技術編 (社)日本公園緑地協会				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題は、1週間以内に返却する。										

発行日 2020年4月

発行者 西日本短期大学

〒810-0066

福岡県福岡市中央区福浜1-3-1

TEL 092-721-1141（代表） 092-721-1152（学務課直通）

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

在学中の講義要項は、編入時の単位認定や資格取得時に提示を求められることがありますので、卒業後も各自保管してください。